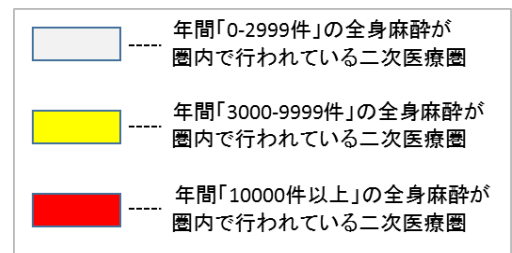
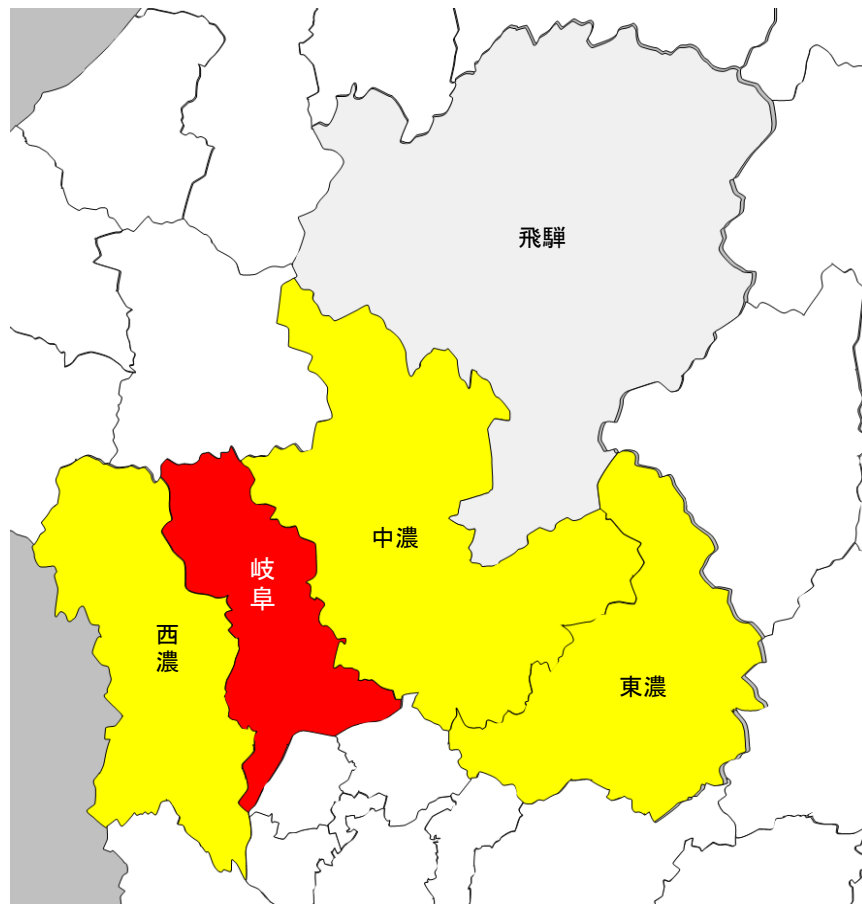


21. 岐阜県

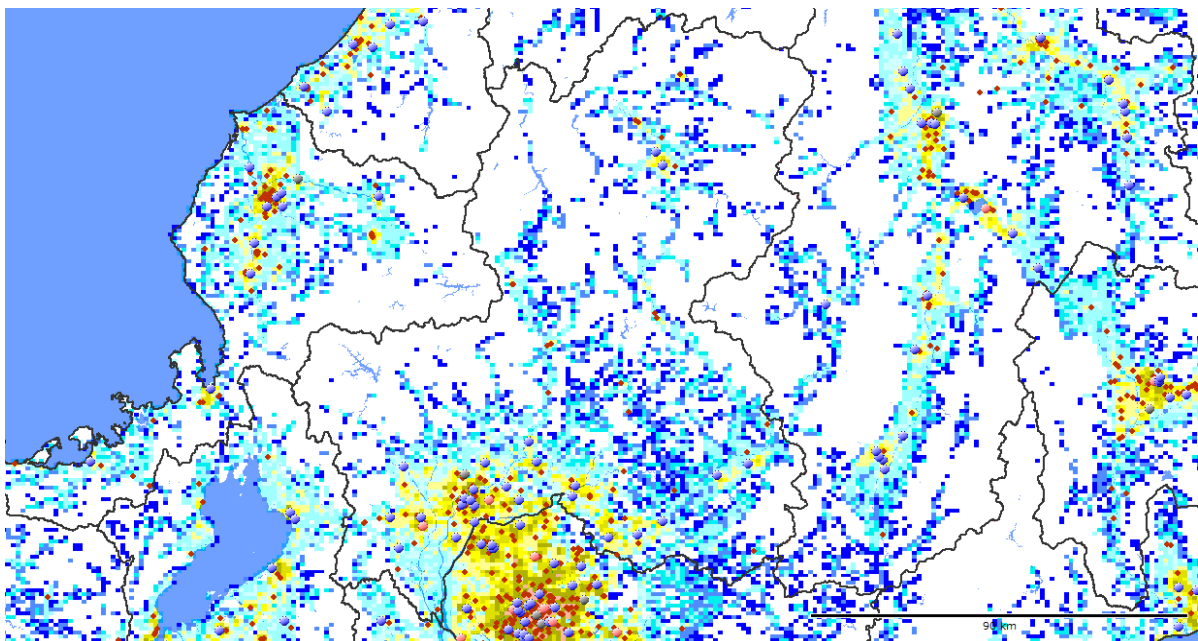


目次

岐阜県	21	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	21	-	8
1. 岐阜医療圏	21	-	20
2. 西濃医療圏	21	-	25
3. 中濃医療圏	21	-	30
4. 東濃医療圏	21	-	35
5. 飛騨医療圏	21	-	40

21. 岐阜県

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS
Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院



(岐阜県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 岐阜県は、総人口約2,032千人(2015年)、面積10,621km²、人口密度は191人/km²である。

*人口の将来予測： 岐阜県の総人口は2025年に1,901千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に1,646千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の277千人が、2025年にかけて361千人へと増加し(2015年比+30%)、2040年には355千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 岐阜県の一人当たり医療費(国保)は351千円(偏差値51)、介護給付費は244千円(偏差値48)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 岐阜県の一人当たり急性期医療密度指数は0.74、一人当たり慢性期医療密度指数は0.64で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が46(病院医師数46、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は48と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は48で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は49で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 岐阜県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、26,191人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が17,619床(偏差値52)、高齢者住宅等が8,572床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、21,443人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設46、有料老人ホーム40、軽費ホーム50、グループホーム55、サ高住45である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値51と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、2,728人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-25%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移

【人口と医療需要】

岐阜県の総人口は、2005年2,107,226人が、2015年に2,031,903人と4%減少し、2025年の人口が1,901,131人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に10%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

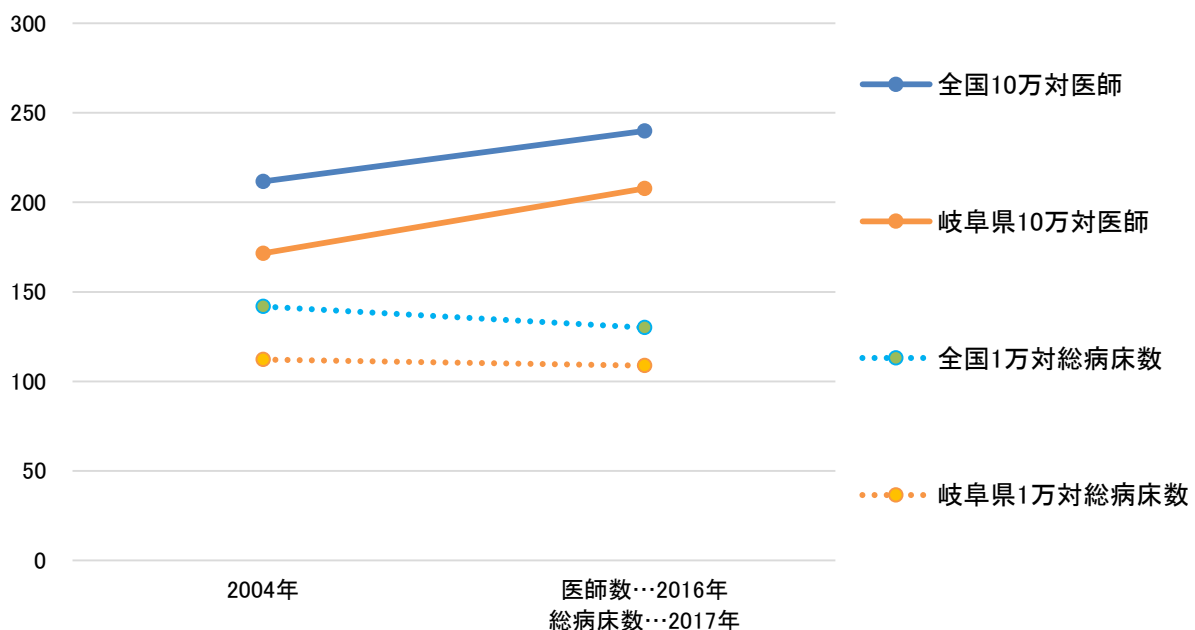
2004年の病院数が112(人口10万人当たり5.3病院(全国平均7.1)偏差値45)であったが、2017年に101(人口10万人当たり5病院(全国平均6.6)偏差値46)となり、13年間で11病院が減少した。

2004年の診療所数が1,467(人口10万人当たり70診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2017年に1,585(人口10万人当たり78診療所(全国平均80)偏差値49)と、118診療所が増加した。

2004年の総病床数が23,642床(人口1万人当たり112(全国平均142)偏差値45)であったが、2017年に22,113床(人口1万人当たり109(全国平均130)偏差値46)と、1,529床の減少、率にして6%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

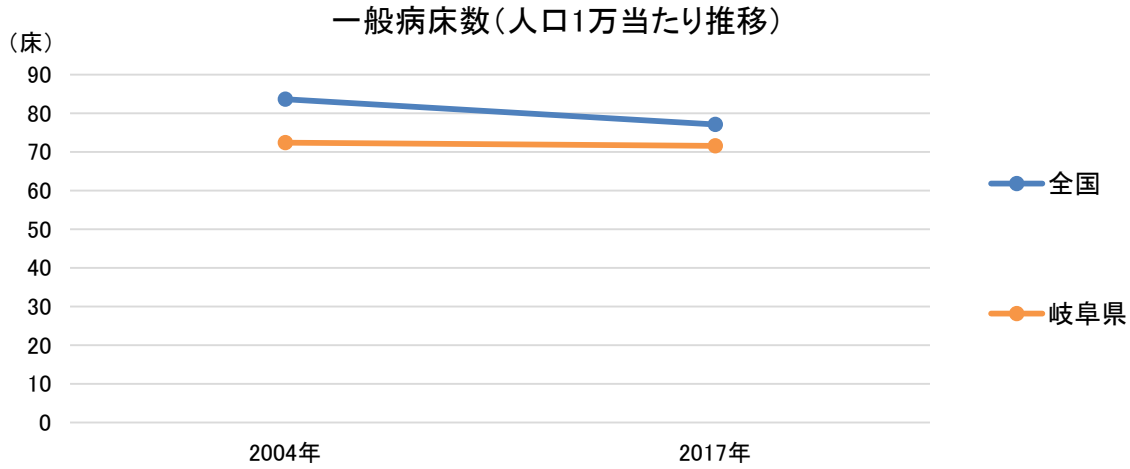
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が3,614人(人口10万人当たり172人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2016年に4,223人(人口10万人当たり208人(全国平均240人)偏差値46)と、609人の増加、率にして17%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



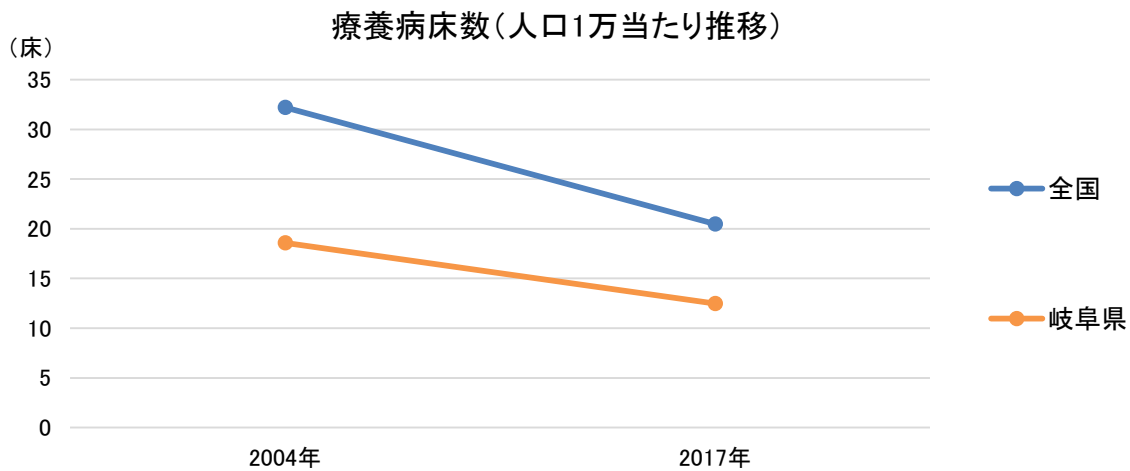
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が15,264床(人口1万人当たり72(全国平均84)偏差値46)であったが、2017年に14,539床(人口1万人当たり72(全国平均77)偏差値48)と、725床の減少、率にして5%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



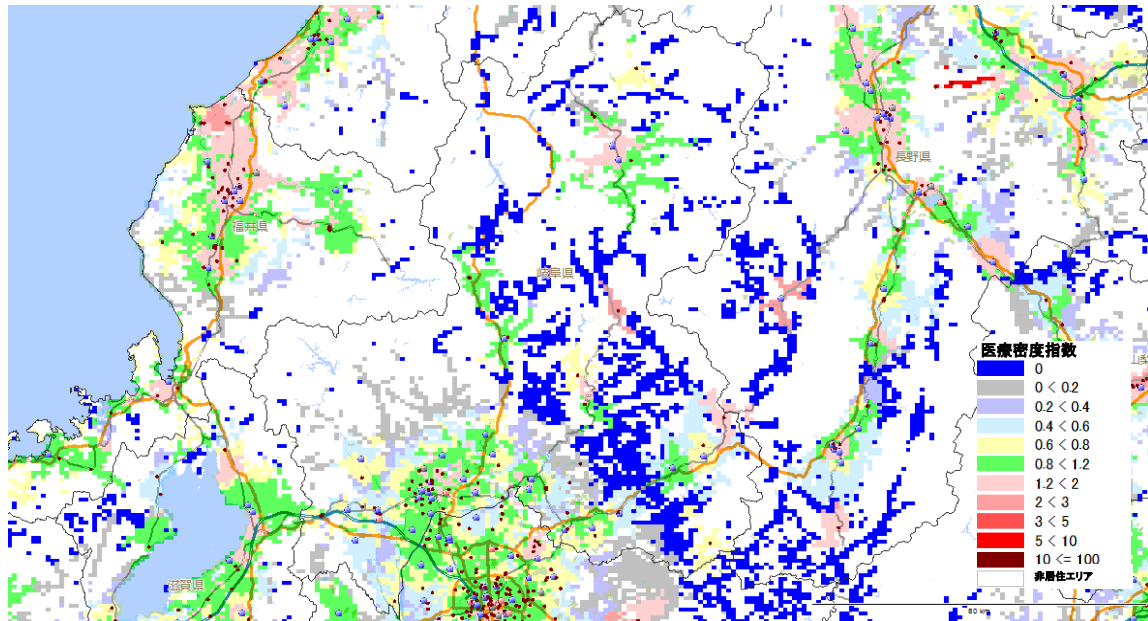
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が3,778床(75歳以上1,000人当たり19(全国平均32)偏差値42)であったが、2017年に3,455床(75歳以上1,000人当たり12(全国平均20)偏差値43)と、323床の減少、率にして9%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



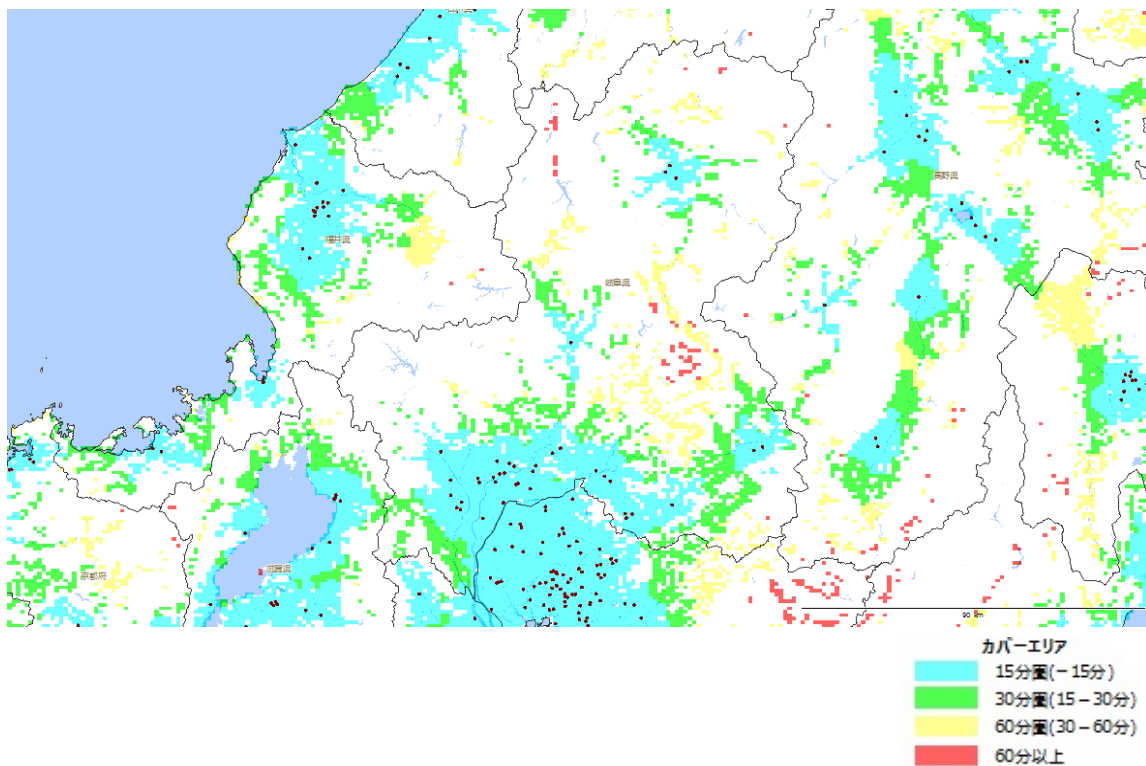
(岐阜県) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表21-1 急性期医療密度指数マップ



図表21-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資_図表 21-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	-4%	-9%	34%	3%
岐阜県	2,032	17位	10,621	7位	191.3		28%	1,901	1,646	277	361	355	-6%	-13%	30%	-2%
岐阜	800	39%	993	9%	805.2	地方都市型	27%	765	682	99	134	130	-4%	-11%	35%	-3%
西濃	372	18%	1,433	13%	259.9	地方都市型	28%	342	289	49	63	62	-8%	-15%	29%	-2%
中濃	374	18%	2,454	23%	152.3	地方都市型	28%	352	308	52	68	71	-6%	-13%	31%	4%
東濃	337	17%	1,563	15%	215.6	地方都市型	30%	310	262	51	64	64	-8%	-15%	25%	0%
飛騨	149	7%	4,178	39%	35.7	過疎地域型	33%	132	105	27	31	28	-11%	-20%	15%	-10%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月															

資_図表 21-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,485,377	1,772,098	-19.3%
岐阜県	0.74	0.64	23,372	29,204	-25.0%
岐阜	0.96	0.69	8,205	10,719	-30.6%
西濃	0.53	0.52	4,513	5,185	-14.9%
中濃	0.60	0.55	4,420	5,536	-25.2%
東濃	0.52	0.66	4,155	5,198	-25.1%
飛騨	1.00	3.49	2,079	2,565	-23.4%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2016年度版)序章【参考資料】参照(日医総研WP no.375)) <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

資_図表 21-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	347	(43)	1.000	133	(30)	1.000	188	(17)	1.000	252	(35)
岐阜県	351	51	0.987	127	48	0.933	197	55	1.021	244	48
岐阜	350	51	1.016	125	47	0.949	198	56	1.058	240	46
西濃	355	52	0.988	128	48	0.922	200	57	1.022	252	50
中濃	348	50	0.973	129	49	0.938	194	53	0.994	230	44
東濃	355	52	0.956	123	47	0.862	205	60	1.015	250	49
飛騨	345	50	0.938	141	53	0.999	181	46	0.904	263	53
出典	<一人あたり医療費>平成28年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成29年度介護保険事業状況報告(年報) 平成29年度累計(平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで) ※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。										

資_図表 21-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	919	(120)	1.000	458	(98)	1.000	427	(39)	1.000
岐阜県	846	44	0.928	392	43	0.861	422	49	0.996
岐阜	910	49	1.006	417	46	0.932	457	58	1.076
西濃	824	42	0.904	378	42	0.833	413	46	0.972
中濃	839	43	0.916	410	45	0.885	398	43	0.946
東濃	810	41	0.881	358	40	0.775	421	48	0.992
飛騨	732	34	0.801	351	39	0.760	358	32	0.854
出典	<一人あたり医療費>平成28年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

資_図表 21-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,412		6.6	(4.6)	101,471		80	(18.9)
岐阜県	101	1.2%	5.0	46	1,585	1.6%	78	49
岐阜	42	42%	5.3	47	690	44%	86	53
西濃	16	16%	4.3	45	256	16%	69	44
中濃	18	18%	4.8	46	262	17%	70	45
東濃	15	15%	4.5	45	245	15%	73	46
飛騨	10	10%	6.7	50	132	8%	89	55
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 21-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	無床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	有床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	101,471		80	(18.9)	94,269		74	(18.7)	7,202		5.7	(6.0)
岐阜県	1,585	1.6%	78	49	1,452	1.5%	71	49	133	1.8%	6.5	51
岐阜	690	44%	86	53	621	43%	78	52	69	52%	8.6	55
西濃	256	16%	69	44	232	16%	62	44	24	18%	6.4	51
中濃	262	17%	70	45	242	17%	65	45	20	15%	5.4	49
東濃	245	15%	73	46	231	16%	69	47	14	11%	4.2	47
飛騨	132	8%	89	55	126	9%	85	56	6	5%	4.0	47
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 21-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	病院総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院+診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,554,879		1,223	(48.1)	98,355		77	(94)	1,653,234		1,301	(53.7)
岐阜県	20,456	1.3%	1,007	45	1,657	1.7%	82	50	22,113	1.3%	1,088	46
岐阜	8,660	42%	1,083	47	834	50%	104	53	9,494	43%	1,187	48
西濃	3,648	18%	980	45	315	19%	85	51	3,963	18%	1,064	46
中濃	3,317	16%	888	43	222	13%	59	48	3,539	16%	947	43
東濃	3,044	15%	903	43	208	13%	62	48	3,252	15%	965	44
飛騨	1,787	9%	1,199	49	78	5%	52	47	1,865	8%	1,251	49
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 21-8 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床数				療養病床数				精神病床数			
	一般病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	890,865		701	(223)	325,228		256	(203)	331,700		261	(210)
岐阜県	13,138	1.5%	647	48	3,199	1.0%	157	45	3,962	1.2%	195	47
岐阜	6,009	46%	751	52	1,397	44%	175	46	1,184	30%	148	45
西濃	1,867	14%	501	41	729	23%	196	47	1,006	25%	270	50
中濃	2,084	16%	558	44	518	16%	139	44	705	18%	189	47
東濃	2,065	16%	613	46	318	10%	94	42	642	16%	191	47
飛騨	1,113	8%	747	52	237	7%	159	45	425	11%	285	51
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 21-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数				地域包括 ケア 病床数			
	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	80,806		64	(46)	73,895		58	(63)
岐阜県	978	1.2%	48	47	1,274	1.7%	63	51
岐阜	528	54%	66	51	446	35%	56	50
西濃	96	10%	26	42	215	17%	58	50
中濃	92	9%	25	42	309	24%	83	54
東濃	191	20%	57	49	157	12%	47	48
飛騨	71	7%	48	47	147	12%	99	56
出典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				平成30年5月地方厚生局			

資_図表 21-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	445,096	396,156	16,674	1,098,305	495,042	301,360	44.5%	(27%)	5.2%	(22%)
岐阜県	9,017	8,215	522	10,744	4,346	2,634	65.4%	58	16.5%	55
岐阜	3,560	3,353	60	4,827	2,428	1,341	58.0%	55	4.3%	50
西濃	1,430	1,204	180	2,113	594	513	67.0%	58	26.0%	59
中濃	1,046	986	50	2,201	1,025	471	49.0%	52	9.6%	52
東濃	1,737	1,622	50	1,102	270	254	85.7%	66	16.4%	55
飛騨	1,244	1,050	182	501	29	55	97.3%	70	76.8%	82
出典	地方厚生局指定一覧平成30年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機関とし、それ以外は民間病院とした。									

資_図表 21-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔 件数				分娩件数			
	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	3,945,312		3,104	(2,557)	923,436		727	(264)
岐阜県	24,864	0.6%	1,224	43	16,440	1.8%	809	53
岐阜	12,432	50%	1,554	44	7,296	44%	912	57
西濃	4,656	19%	1,250	43	2,724	17%	731	50
中濃	3,204	13%	857	41	2,604	16%	697	49
東濃	3,168	13%	940	42	2,676	16%	794	53
飛騨	1,404	6%	942	42	1,140	7%	765	51
出典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

資_図表 21-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	304,759		240	(90)	202,302		159	(72)	102,457		81	(23)
岐阜県	4,223	1.4%	208	46	2,588	1.3%	127	46	1,635	1.6%	80	50
岐阜	2,180	52%	273	54	1,398	54%	175	52	782	48%	98	57
西濃	611	14%	164	42	344	13%	92	41	267	16%	72	46
中濃	578	14%	155	41	341	13%	91	41	237	14%	63	43
東濃	596	14%	177	43	346	13%	103	42	250	15%	74	47
飛騨	258	6%	173	43	159	6%	107	43	99	6%	66	44
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月			

資_図表 21-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	22,522		17.7	(9.2)	13,551		10.7	(4.8)	11,242		8.8	(4.0)
岐阜県	344	1.5%	16.9	49	180	1.3%	8.9	46	159	1.4%	7.8	47
岐阜	206	60%	25.8	59	105	58%	13.1	55	85	53%	10.6	54
西濃	42	12%	11.3	43	21	12%	5.6	39	19	12%	5.1	41
中濃	36	10%	9.6	41	23	13%	6.2	41	24	15%	6.4	44
東濃	38	11%	11.3	43	23	13%	6.8	42	23	14%	6.8	45
飛騨	22	6%	14.8	47	8	4%	5.4	39	8	5%	5.4	41
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 21-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科専門医数				眼科専門医数				耳鼻咽喉科専門医数			
	皮膚科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	眼科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	耳鼻咽喉科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,609		4.4	(2.2)	9,812		7.7	(3.3)	7,687		6.0	(2.6)
岐阜県	77	1.4%	3.8	47	153	1.6%	7.5	49	121	1.6%	6.0	50
岐阜	41	53%	5.1	53	81	53%	10.1	57	70	58%	8.8	60
西濃	13	17%	3.5	46	23	15%	6.2	45	16	13%	4.3	43
中濃	9	12%	2.4	41	18	12%	4.8	41	14	12%	3.7	41
東濃	9	12%	2.7	42	24	16%	7.1	48	15	12%	4.5	44
飛騨	5	6%	3.4	45	7	5%	4.7	41	6	5%	4.0	42
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 21-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	9,177		7.2	(3.4)	21,168		16.7	(7.1)	16,463		13.0	(4.6)
岐阜県	120	1.3%	5.9	46	255	1.2%	12.5	44	234	1.4%	11.5	47
岐阜	54	45%	6.8	49	120	47%	15.0	48	114	49%	14.3	53
西濃	19	16%	5.1	44	38	15%	10.2	41	38	16%	10.2	44
中濃	15	13%	4.0	41	47	18%	12.6	44	38	16%	10.2	44
東濃	21	18%	6.2	47	33	13%	9.8	40	31	13%	9.2	42
飛騨	11	9%	7.4	50	17	7%	11.4	43	13	6%	8.7	41
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 21-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,003		4.7	(2.1)	6,763		5.3	(2.4)	5,687		4.5	(3.0)
岐阜県	76	1.3%	3.7	45	102	1.5%	5.0	49	54	0.9%	2.7	44
岐阜	41	54%	5.1	52	51	50%	6.4	54	38	70%	4.8	51
西濃	11	14%	3.0	42	8	8%	2.1	37	1	2%	0.3	36
中濃	8	11%	2.1	38	19	19%	5.1	49	8	15%	2.1	42
東濃	12	16%	3.6	44	13	13%	3.9	44	5	9%	1.5	40
飛騨	4	5%	2.7	40	11	11%	7.4	59	2	4%	1.3	40
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 21-17 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,107		5.6	(3.3)	1,603		1.3	(1.0)	3,795		3.0	(1.9)
岐阜県	80	1.1%	3.9	45	23	1.4%	1.1	49	53	1.4%	2.6	48
岐阜	60	75%	7.5	56	13	57%	1.6	54	33	62%	4.1	56
西濃	5	6%	1.3	37	1	4%	0.3	40	3	6%	0.8	39
中濃	8	10%	2.1	40	3	13%	0.8	45	10	19%	2.7	48
東濃	5	6%	1.5	38	5	22%	1.5	52	5	9%	1.5	42
飛騨	2	3%	1.3	37	1	4%	0.7	44	2	4%	1.3	41
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 21-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,141		1.7	(1.3)	2,516		2.0	(1.4)
岐阜県	19	0.9%	0.9	44	27	1.1%	1.3	45
岐阜	12	63%	1.5	49	14	52%	1.8	48
西濃	3	16%	0.8	43	7	26%	1.9	49
中濃	1	5%	0.3	39	2	7%	0.5	40
東濃	2	11%	0.6	41	2	7%	0.6	40
飛騨	1	5%	0.7	42	2	7%	1.3	45
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月							

資_図表 21-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
岐阜県	16,978	1.5%	836	48	12,793	1.4%	630	46	4,185	1.9%	206	54
岐阜	7,404	44%	926	51	5,645	44%	706	49	1,759	42%	220	56
西濃	2,794	16%	750	45	2,068	16%	555	43	726	17%	195	52
中濃	2,693	16%	721	44	2,016	16%	539	42	677	16%	181	50
東濃	2,669	16%	792	46	1,965	15%	583	44	704	17%	209	54
飛騨	1,418	8%	951	52	1,100	9%	738	51	318	8%	213	55
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 21-20 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	薬剤師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	139,385		110	(57)	301,323		237	(98)
岐阜県	1,620	1.2%	80	45	3,868	1.3%	190	45
岐阜	820	51%	103	49	2,012	52%	252	51
西濃	197	12%	53	40	540	14%	145	41
中濃	272	17%	73	44	507	13%	136	40
東濃	219	13%	65	42	574	15%	170	43
飛騨	113	7%	76	44	235	6%	158	42
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月			

資_図表 21-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,224		0.9	(0.4)	1,386		0.1	(0.1)	10,994		0.7	(0.2)
岐阜県	255	1.8%	0.9	51	17	1.2%	0.1	47	192	1.7%	0.7	51
岐阜	135	53%	1.4	61	8	47%	0.1	49	90	47%	0.9	61
西濃	33	13%	0.7	46	0	0%	0	38	28	15%	0.6	45
中濃	46	18%	0.9	50	4	24%	0.1	49	29	15%	0.6	45
東濃	26	10%	0.5	42	3	18%	0.1	46	34	18%	0.7	50
飛騨	15	6%	0.6	43	2	12%	0.1	49	11	6%	0.4	38
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成30年6月			

資_図表 21-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,695,162		104	(17)	1,001,413		61	(12)	693,749		43	(16)
岐阜県	26,191	1.5%	94	44	17,619	1.8%	64	52	8,572	1.2%	31	43
岐阜	9,705	37%	98	47	6,080	35%	61	50	3,625	42%	37	46
西濃	4,734	18%	97	46	3,472	20%	71	58	1,262	15%	26	39
中濃	4,687	18%	90	42	3,374	19%	65	53	1,313	15%	25	39
東濃	4,600	18%	90	42	2,915	17%	57	47	1,685	20%	33	44
飛騨	2,465	9%	92	43	1,778	10%	66	54	687	8%	26	39
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 21-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数				特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
岐阜県	6,769	1.8%	24	53	10,301	1.8%	37	52	549	0.9%	2.0	46
岐阜	2,429	36%	25	54	3,340	32%	34	49	311	57%	3.1	49
西濃	1,229	18%	25	55	2,199	21%	45	60	44	8%	0.9	43
中濃	1,325	20%	25	55	2,024	20%	39	54	25	5%	0.5	42
東濃	1,099	16%	22	49	1,759	17%	35	49	57	10%	1.1	44
飛騨	687	10%	26	56	979	10%	37	51	112	20%	4.2	51
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したものの											

資_図表 21-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	有料老人ホーム			軽費ホーム	軽費ホーム			グループホーム	グループホーム		
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
岐阜県	1,132	0.5%	4.1	40	373	1.6%	1.3	50	4,188	2.1%	15.1	55
岐阜	334	30%	3.4	40	79	21%	0.8	47	1,712	41%	17.3	59
西濃	115	10%	2.4	39	50	13%	1.0	48	876	21%	18.0	60
中濃	289	26%	5.6	42	30	8%	0.6	46	697	17%	13.4	52
東濃	347	31%	6.8	43	164	44%	3.2	58	699	17%	13.7	52
飛騨	47	4%	1.8	38	50	13%	1.9	52	204	5%	7.6	42
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 21-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	サ高住(全施設)			サ高住 (特定 施設)	サ高住(特定 施設)			サ高住 (非特定 施設)	サ高住(非特定 施設)			
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	231,875		14.2	(7.0)	22,090		1.4	(1.8)	209,785		12.9	(6.8)	
岐阜県	2,879	1.2%	10.4	45	60	0.3%	0.2	44	2,819	1.3%	10.2	46	
岐阜	1,500	52%	15.2	51	0	0%	0	43	1,500	53%	15.2	53	
西濃	221	8%	4.5	36	0	0%	0	43	221	8%	4.5	38	
中濃	297	10%	5.7	38	30	50%	0.6	46	267	9%	5.1	39	
東濃	475	16%	9.3	43	30	50%	0.6	46	445	16%	8.7	44	
飛騨	386	13%	14.4	50	0	0%	0	43	386	14%	14.4	52	
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計			平成30年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの					平成30年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				

資_図表 21-26 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事 看護師数	介護施設			看護師数 (施設)	訪問看護			看護師数 (訪問)	訪問看護		
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	171,768		10.5	(2.3)	120,155		7.4	(2.0)	51,613		3.2	(1.1)
岐阜県	2,761	1.6%	10.0	48	1,852	1.5%	6.7	47	910	1.8%	3.3	51
岐阜	1,024	37%	10.4	49	621	34%	6.3	45	404	44%	4.1	59
西濃	477	17%	9.8	47	335	18%	6.9	47	143	16%	2.9	48
中濃	479	17%	9.2	44	368	20%	7.1	49	110	12%	2.1	40
東濃	478	17%	9.4	45	310	17%	6.1	44	168	18%	3.3	51
飛騨	303	11%	11.3	54	218	12%	8.1	54	85	9%	3.2	50
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 21-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,507,968		92	(12.4)	1,286,309		79	(11.2)	221,659		13.6	(5.6)
岐阜県	24,171	1.6%	87	46	21,443	1.7%	77	49	2,728	1.2%	9.8	43
岐阜	8,879	37%	90	48	7,633	36%	77	49	1,246	46%	12.6	48
西濃	4,543	19%	93	51	4,114	19%	84	55	429	16%	8.8	41
中濃	4,154	17%	80	40	3,776	18%	73	44	377	14%	7.3	39
東濃	4,257	18%	84	43	3,802	18%	75	46	455	17%	8.9	42
飛騨	2,339	10%	87	46	2,118	10%	79	50	221	8%	8.3	41
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 21-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,228,040		75	(35)	511,065		31	(13)	1,218,955		75	(26)
岐阜県	18,884	1.5%	68	48	8,270	1.6%	30	49	14,661	1.2%	53	42
岐阜	8,630	46%	87	53	3,057	37%	31	50	6,353	43%	64	46
西濃	2,849	15%	58	45	1,408	17%	29	48	2,075	14%	43	38
中濃	2,760	15%	53	44	1,037	13%	20	41	1,682	11%	32	34
東濃	2,868	15%	56	45	1,779	22%	35	53	3,380	23%	66	47
飛騨	1,777	9%	66	48	989	12%	37	54	1,171	8%	44	38
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 21-29 総人口の推移と医療需要の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	122,544,102	-4%	13%	5%	18%
岐阜県		2,107,226	2,031,903	-4%	1,901,131	-10%	10%	3%	12%
岐阜	地方都市型	802,218	799,766	0%	764,566	-5%	14%	4%	19%
西濃	地方都市型	391,637	372,399	-5%	342,380	-13%	8%	1%	9%
中濃	地方都市型	388,877	373,712	-4%	352,475	-9%	8%	5%	13%
東濃	地方都市型	358,884	336,954	-6%	309,971	-14%	7%	1%	8%
飛騨	過疎地域型	165,610	149,072	-10%	131,739	-20%	2%	-3%	-1%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 ※医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.0+(75歳以上人口)×4.9で算出。								

資_図表 21-30 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,412	6.6	(4.6)	-665	-7%
岐阜県	112	5.3	45	101	5.0	46	-11	-10%
岐阜	46	5.7	46	42	5.3	47	-4	-9%
西濃	17	4.3	43	16	4.3	45	-1	-6%
中濃	22	5.7	46	18	4.8	46	-4	-18%
東濃	15	4.2	42	15	4.5	45	0	0%
飛騨	12	7.2	50	10	6.7	50	-2	-17%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 21-31 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	101,471	80	(19)	4,420	5%
岐阜県	1,467	70	47	1,585	78	49	118	8%
岐阜	622	78	51	690	86	53	68	11%
西濃	265	68	46	256	69	44	-9	-3%
中濃	217	56	40	262	70	45	45	21%
東濃	227	63	44	245	73	46	18	8%
飛騨	136	82	53	132	89	55	-4	-3%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 21-32 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2016年			2004→2016増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	304,759	240	(90)	34,388	13%
岐阜県	3,614	172	45	4,223	208	46	609	17%
岐阜	1,784	222	51	2,180	273	54	396	22%
西濃	569	145	42	611	164	42	42	7%
中濃	486	125	40	578	155	41	92	19%
東濃	489	136	41	596	177	43	107	22%
飛騨	286	173	45	258	173	43	-28	-10%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2016年>平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月							

資_図表 21-33 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,653,234	130	(54)	-159,320	-9%
岐阜県	23,642	112	45	22,113	109	46	-1,529	-6%
岐阜	10,013	125	47	9,494	119	48	-519	-5%
西濃	4,152	106	44	3,963	106	46	-189	-5%
中濃	3,522	91	41	3,539	95	43	17	0%
東濃	3,577	100	42	3,252	97	44	-325	-9%
飛騨	2,378	144	50	1,865	125	49	-513	-22%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 21-34 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	980,151	77	(26)	-88,670	-8%
岐阜県	15,264	72	46	14,539	72	48	-725	-5%
岐阜	6,697	83	50	6,703	84	53	6	0%
西濃	2,529	65	43	2,148	58	43	-381	-15%
中濃	2,277	59	41	2,302	62	44	25	1%
東濃	2,337	65	43	2,217	66	46	-120	-5%
飛騨	1,424	86	51	1,169	78	50	-255	-18%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 21-35 療養病床数(病院+診療所)の推移

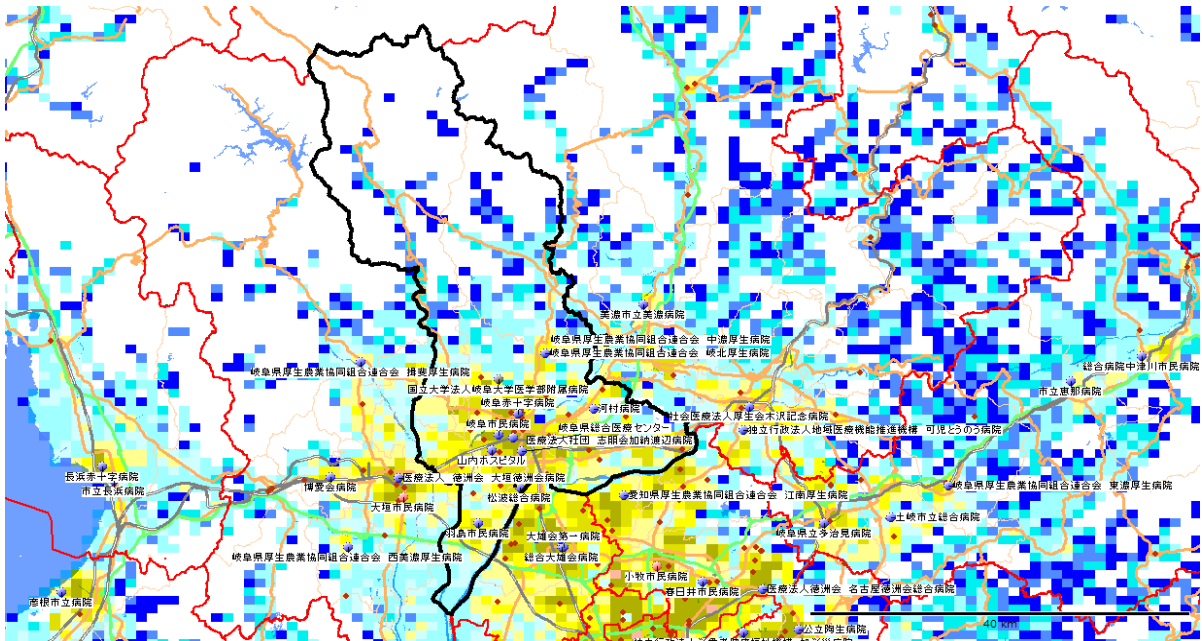
二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	334,297	20	(11)	-39,526	-11%
岐阜県	3,778	19	42	3,455	12	43	-323	-9%
岐阜	1,754	26	47	1,537	16	46	-217	-12%
西濃	570	15	41	763	16	46	193	34%
中濃	530	13	39	522	10	41	-8	-2%
東濃	482	13	39	374	7	38	-108	-22%
飛騨	442	21	44	259	10	40	-183	-41%
出典	<療養病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <療養病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

21-1. 岐阜医療圏

構成市区町村 [岐阜市](#) [羽島市](#) [各務原市](#) [山県市](#)
[瑞穂市](#) [本巣市](#) [岐南町](#) [笠松町](#)
[北方町](#)

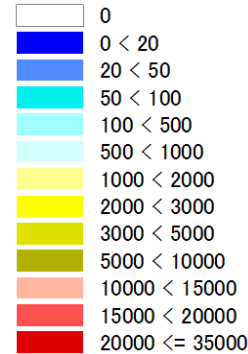
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(岐阜医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 岐阜(岐阜市)は、総人口約800千人(2015年)、面積993km²、人口密度は805人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 岐阜の総人口は2025年に765千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に682千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の99千人が、2025年にかけて134千人へと増加し(2015年比+35%)、2040年には130千人へと減少する(2025年比-3%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 岐阜の一人当たり医療費(国保)は350千円(偏差値51)、介護給付費は240千円(偏差値46)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費はやや低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 岐阜の一人当たり急性期医療密度指数は0.96、一人当たり慢性期医療密度指数は0.69で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が54(病院医師数52、診療所医師数57)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は51と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。岐阜には、年間全身麻酔件数が2000例以上の岐阜県総合医療センター(Ⅱ群・救命)、岐阜市民病院(Ⅱ群)、岐阜大学医学部附属病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上の松波総合病院(Ⅲ群)、500例以上の岐阜赤十字病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値49と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は53で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 岐阜の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、9,705人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が6,080床(偏差値50)、高齢者住宅等が3,625床(偏差値46)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、7,633人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設49、有料老人ホーム40、軽費ホーム47、グループホーム59、サ高住51である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値61と多く、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値61と多い。介護職員(在宅)の合計は、1,246人(75歳以上1,000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-31%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(岐阜医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

岐阜医療圏の総人口は、2005年802,218人が、2015年に799,766人と1%未満減少し、2025年の人口が764,566人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に14%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

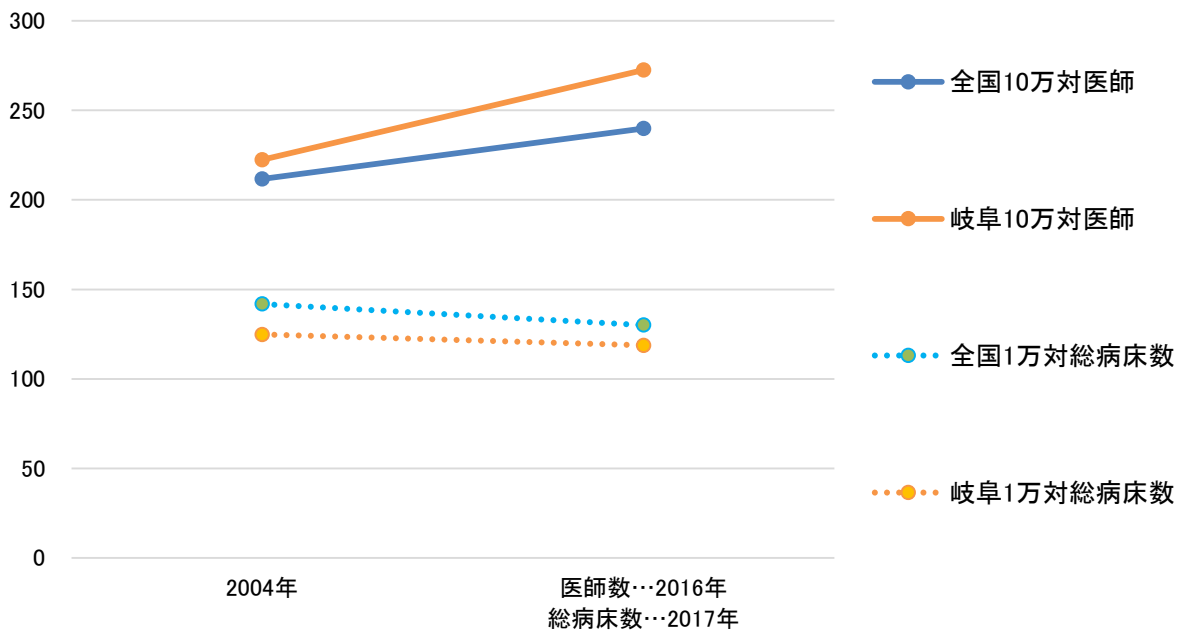
2004年の病院数が46(人口10万人当たり5.7病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2017年に42(人口10万人当たり5.3病院(全国平均6.6)偏差値47)となり、13年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が622(人口10万人当たり78診療所(全国平均76)偏差値51)であったが、2017年に690(人口10万人当たり86診療所(全国平均80)偏差値53)と、68診療所が増加した。

2004年の総病床数が10,013床(人口1万人当たり125(全国平均142)偏差値47)であったが、2017年に9,494床(人口1万人当たり119(全国平均130)偏差値48)と、519床の減少、率にして5%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

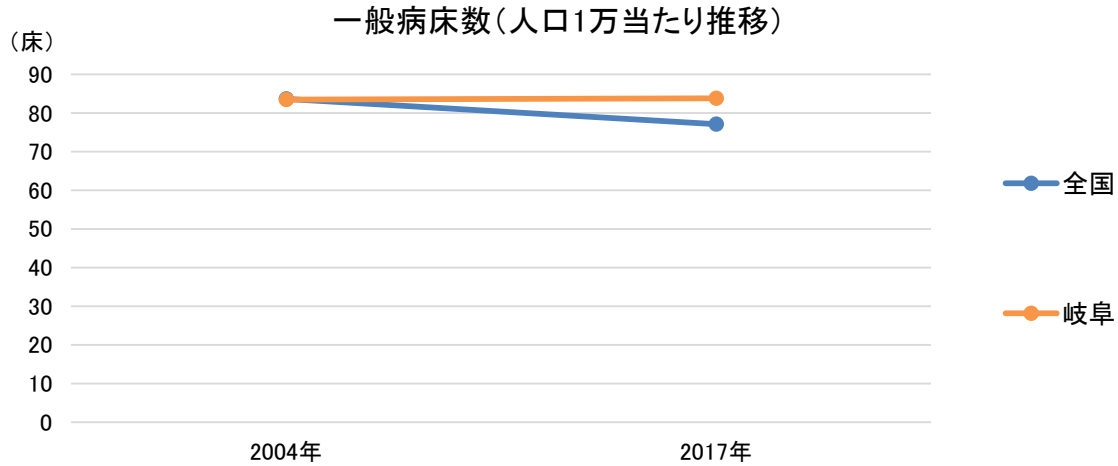
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,784人(人口10万人当たり222人(全国平均212人)偏差値51)であったが、2016年に2,180人(人口10万人当たり273人(全国平均240人)偏差値54)と、396人の増加、率にして22%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



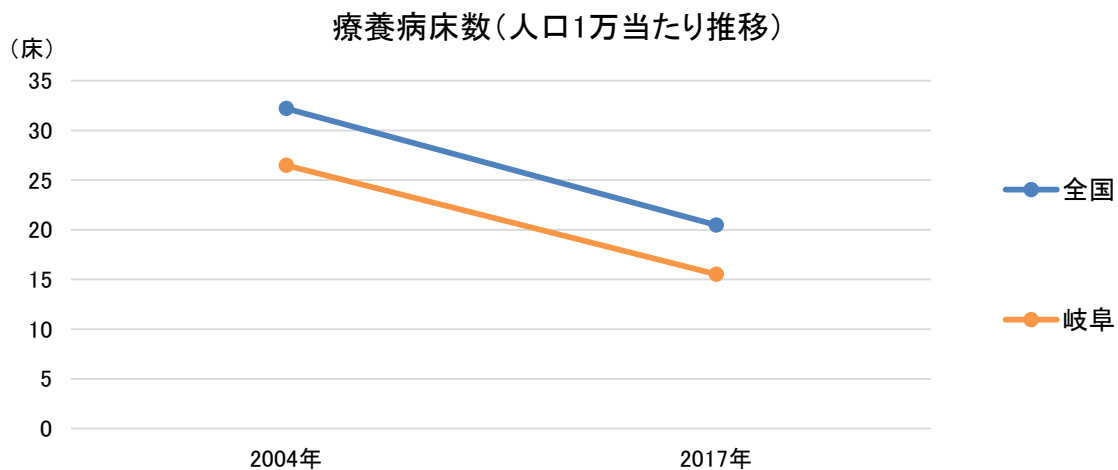
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が6,697床(人口1万人当たり83(全国平均84)偏差値50)であったが、2017年に6,703床(人口1万人当たり84(全国平均77)偏差値53)と、6床の増加、率にして1%未満の増加(全国平均8%の減少)が見られた。



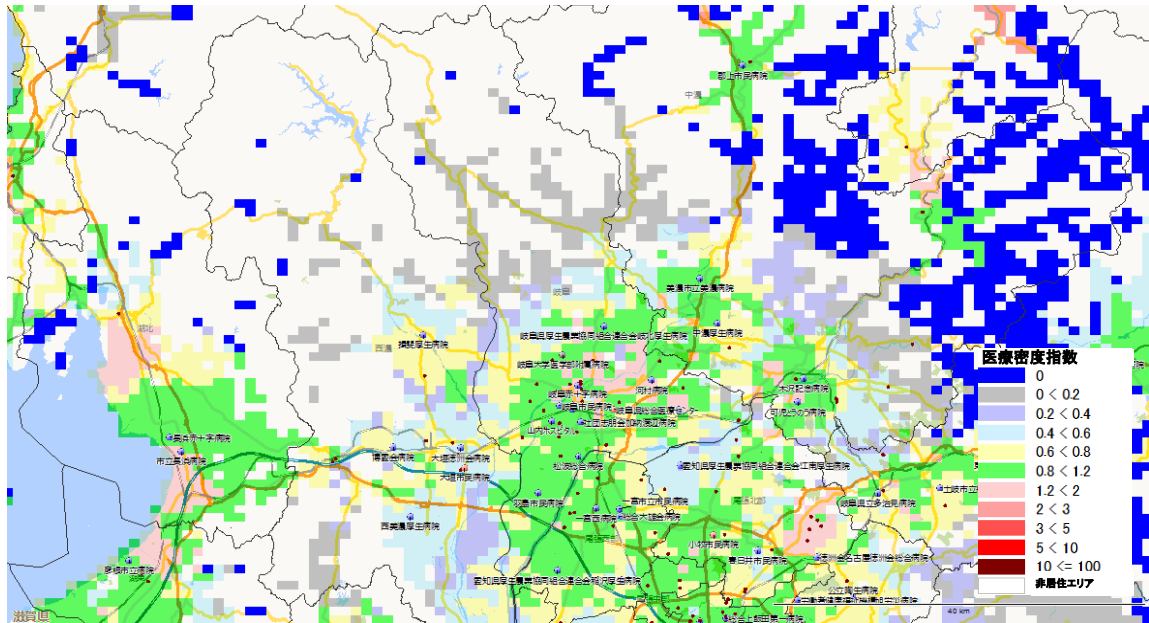
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,754床(75歳以上1,000人当たり26(全国平均32)偏差値47)であったが、2017年に1,537床(75歳以上1,000人当たり16(全国平均20)偏差値46)と、217床の減少、率にして12%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



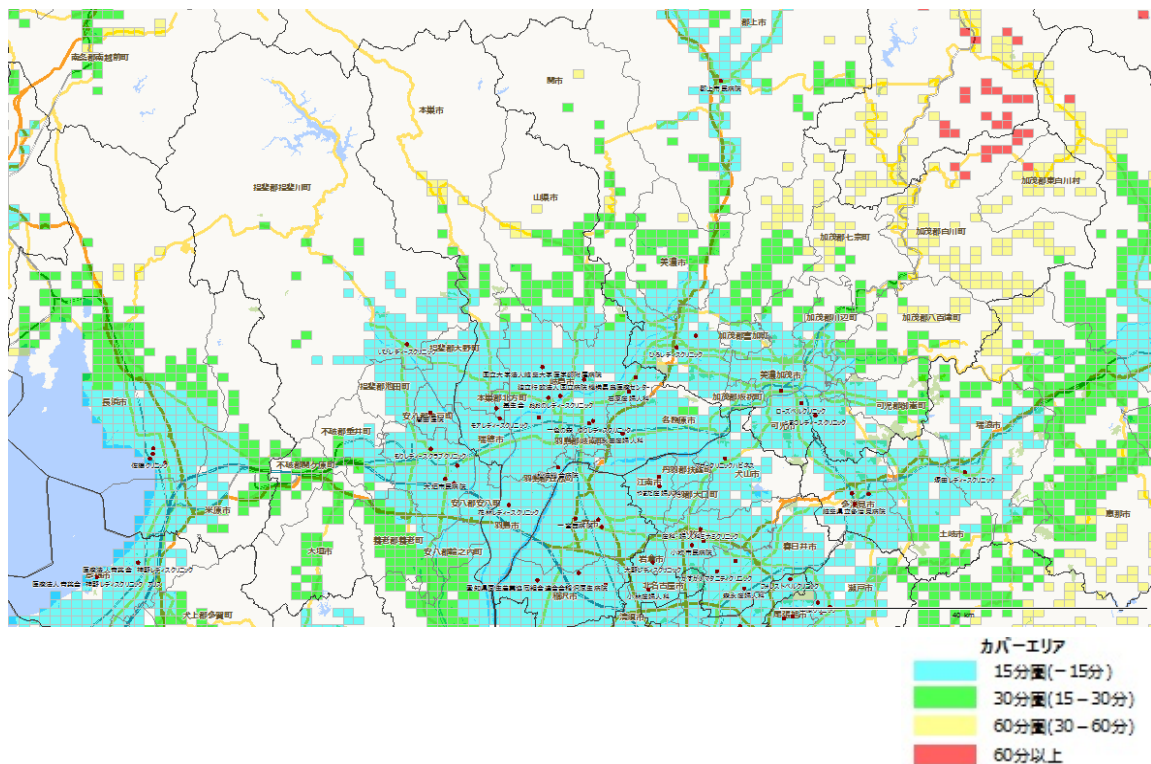
(岐阜医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表21-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表21-1-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

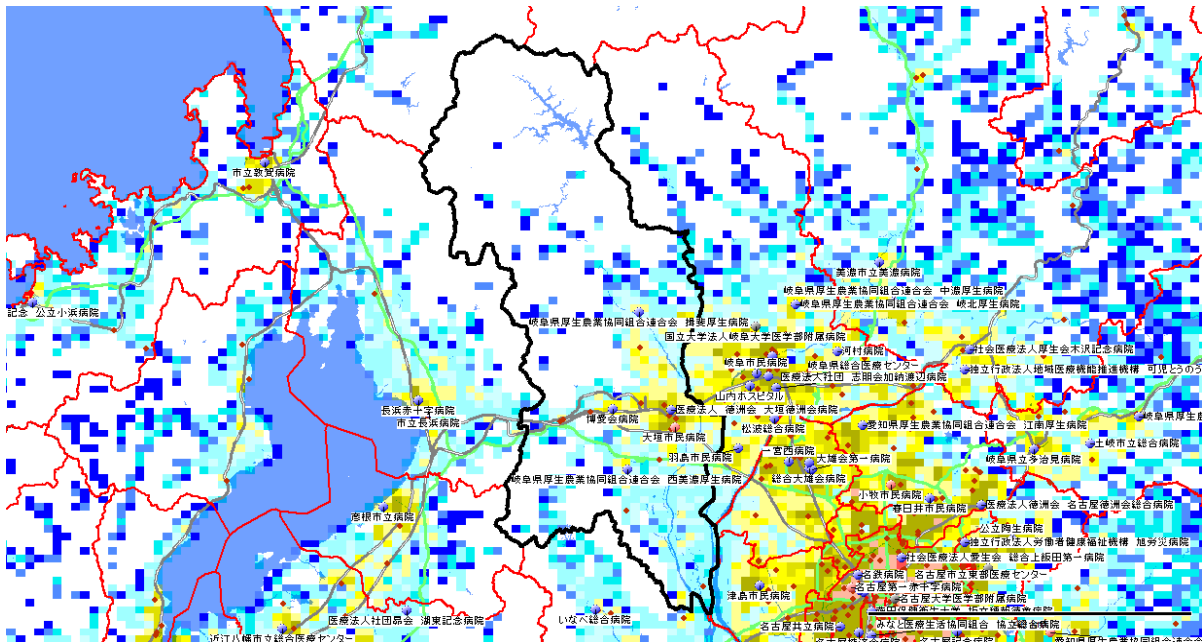


21-2. せいのう 西濃医療圏

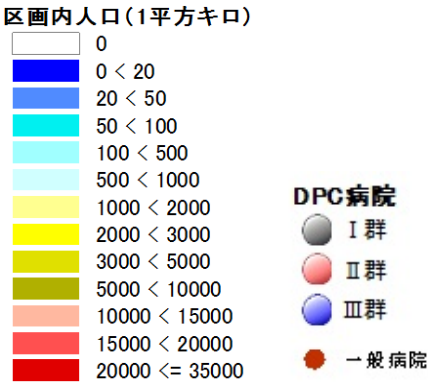
構成市区町村 [大垣市](#) [海津市](#) [養老町](#) [垂井町](#)
[関ヶ原町](#) [神戸町](#) [輪之内町](#) [安八町](#)
[揖斐川町](#) [大野町](#) [池田町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ



(西濃医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 西濃(大垣市)は、総人口約372千人(2015年)、面積1,433km²、人口密度は260人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 西濃の総人口は2025年に342千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に289千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の49千人が、2025年にかけて63千人へと増加し(2015年比+29%)、2040年には62千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 西濃の一人当たり医療費(国保)は355千円(偏差値52)、介護給付費は252千円(偏差値50)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 西濃の一人当たり急性期医療密度指数は0.53、一人当たり慢性期医療密度指数は0.52で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が42(病院医師数41、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は45とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は41で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。西濃には、年間全身麻酔件数が2000例以上の大垣市民病院(Ⅱ群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値40と少なく、回復期病床数は偏差値42と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は44で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 西濃の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4,734人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3,472床(偏差値58)、高齢者住宅等が1,262床(偏差値39)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4,114人(75歳以上1,000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム60、介護療養型医療施設43、有料老人ホーム39、軽費ホーム48、グループホーム60、サ高住36である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値46とやや少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、429人(75歳以上1,000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-15%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(西濃医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

西濃医療圏の総人口は、2005年391,637人が、2015年に372,399人と5%減少し、2025年の人口が342,380人と予測され、2005年→2025年の間に13%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に8%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

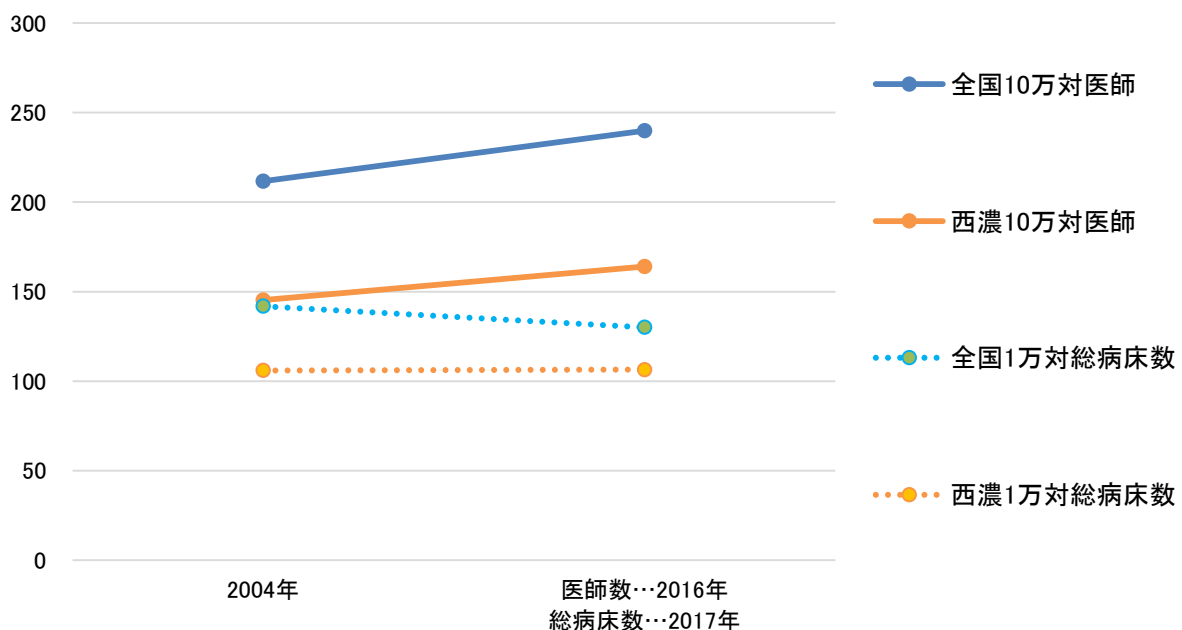
2004年の病院数が17(人口10万人当たり4.3病院(全国平均7.1)偏差値43)であったが、2017年に16(人口10万人当たり4.3病院(全国平均6.6)偏差値45)となり、13年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が265(人口10万人当たり68診療所(全国平均76)偏差値46)であったが、2017年に256(人口10万人当たり69診療所(全国平均80)偏差値44)と、9診療所が減少した。

2004年の総病床数が4,152床(人口1万人当たり106(全国平均142)偏差値44)であったが、2017年に3,963床(人口1万人当たり106(全国平均130)偏差値46)と、189床の減少、率にして5%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

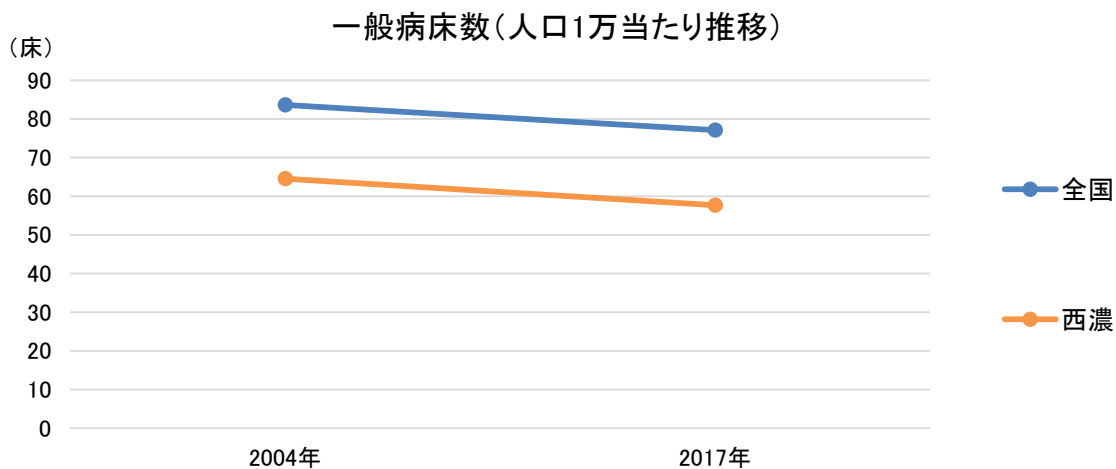
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が569人(人口10万人当たり145人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2016年に611人(人口10万人当たり164人(全国平均240人)偏差値42)と、42人の増加、率にして7%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



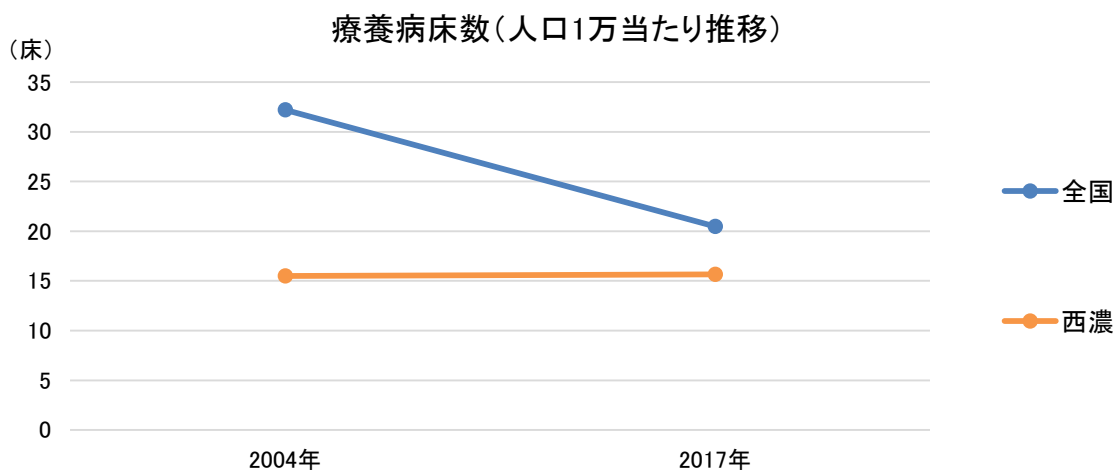
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,529床(人口1万人当たり65(全国平均84)偏差値43)であったが、2017年に2,148床(人口1万人当たり58(全国平均77)偏差値43)と、381床の減少、率にして15%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



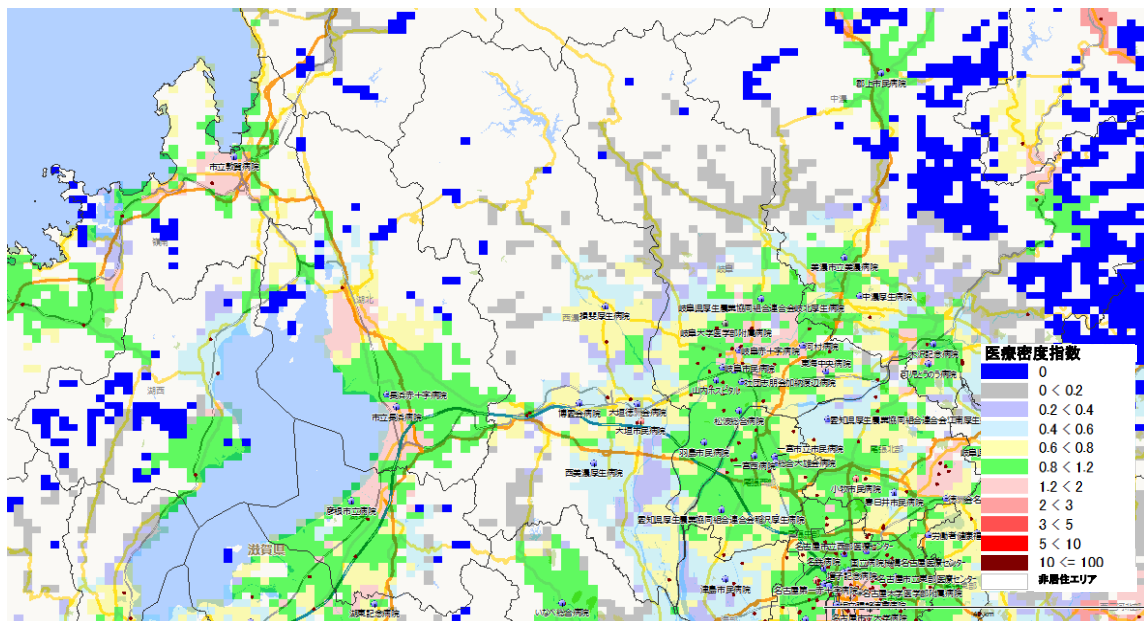
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が570床(75歳以上1,000人当たり15(全国平均32)偏差値41)であったが、2017年に763床(75歳以上1,000人当たり16(全国平均20)偏差値46)と、193床の増加、率にして34%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



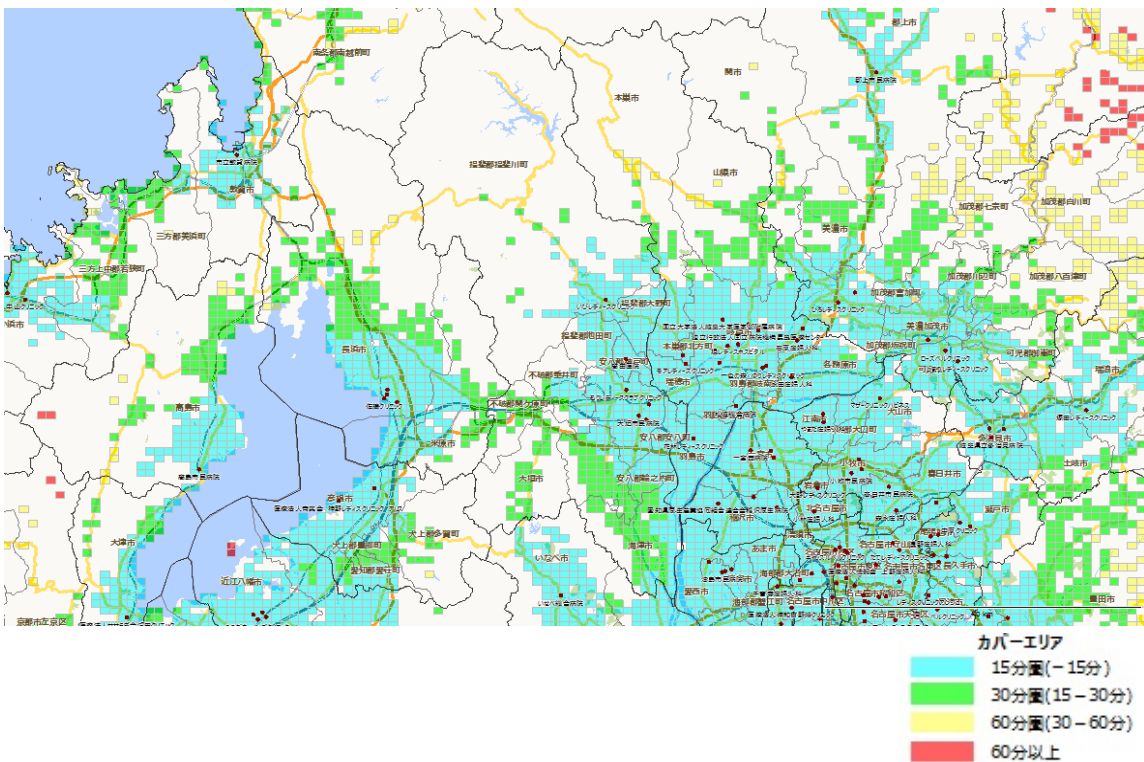
(西濃医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表21-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表21-2-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

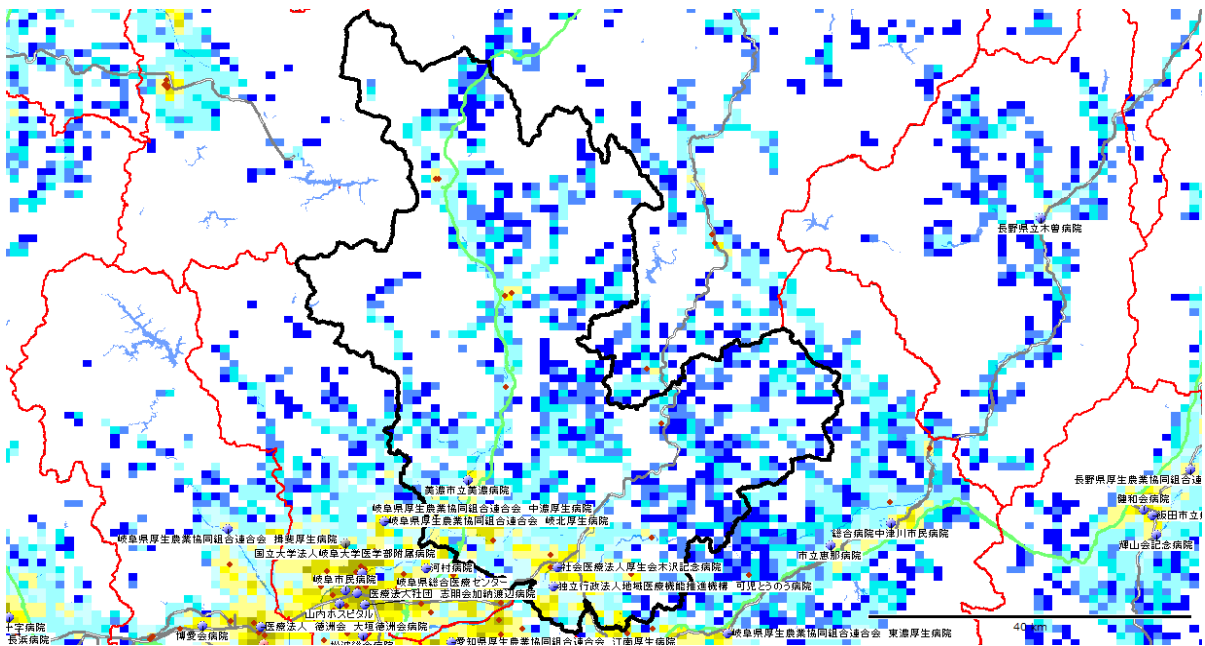


21-3. ちゅうのう 中濃医療圏

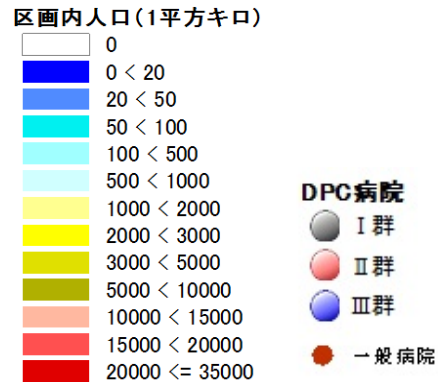
構成市区町村 [関市](#) [美濃市](#) [美濃加茂市](#) [可児市](#)
[郡上市](#) [坂祝町](#) [富加町](#) [川辺町](#)
[七宗町](#) [八百津町](#) [白川町](#) [東白川村](#)
[御嵩町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



(中濃医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 中濃(関市)は、総人口約374千人(2015年)、面積2,454km²、人口密度は152人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 中濃の総人口は2025年に352千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に308千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の52千人が、2025年にかけて68千人へと増加し(2015年比+31%)、2040年には71千人へと増加する(2025年比+4%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 中濃の一人当たり医療費(国保)は348千円(偏差値50)、介護給付費は230千円(偏差値44)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 中濃の一人当たり急性期医療密度指数は0.6、一人当たり慢性期医療密度指数は0.55で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が41(病院医師数41、診療所医師数43)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は44と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は44で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。中濃には、年間全身麻酔件数が1000例以上の木沢記念病院(Ⅲ群)、中濃厚生病院(Ⅲ群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は偏差値42と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は45で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 中濃の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4,687人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3,374床(偏差値53)、高齢者住宅等が1,313床(偏差値39)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3,776人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム54、介護療養型医療施設42、有料老人ホーム42、軽費ホーム46、グループホーム52、サ高住38である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値50と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、377人(75歳以上1,000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-25%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(中濃医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

中濃医療圏の総人口は、2005年388,877人が、2015年に373,712人と4%減少し、2025年の人口が352,475人と予測され、2005年→2025年の間に9%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に8%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

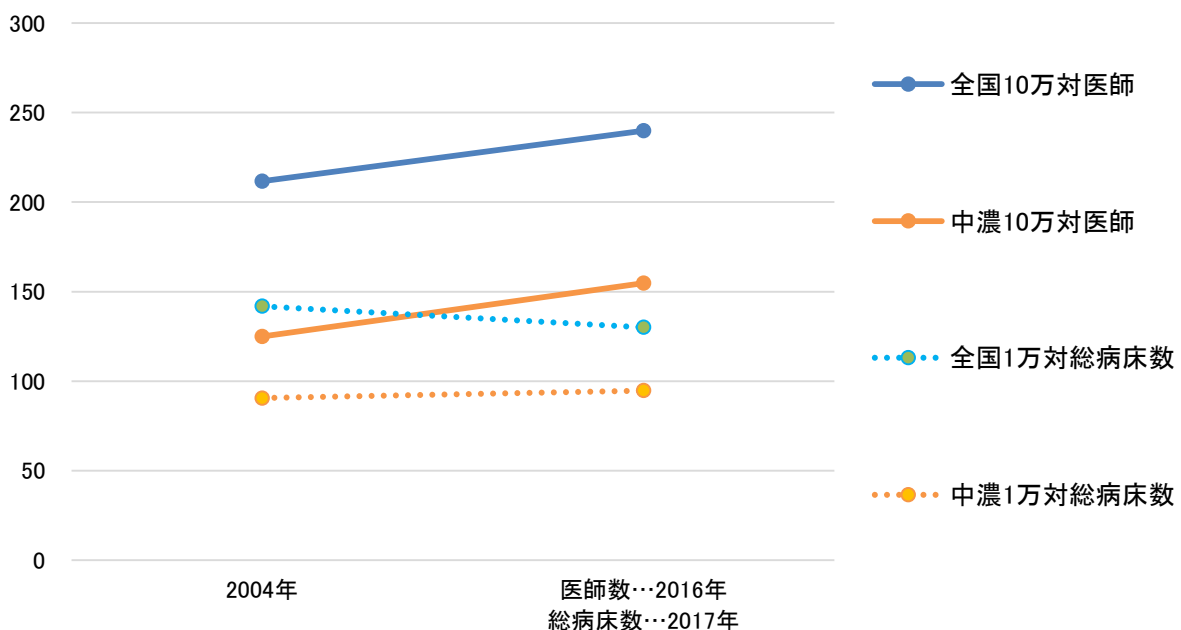
2004年の病院数が22(人口10万人当たり5.7病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2017年に18(人口10万人当たり4.8病院(全国平均6.6)偏差値46)となり、13年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が217(人口10万人当たり56診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2017年に262(人口10万人当たり70診療所(全国平均80)偏差値45)と、45診療所が増加した。

2004年の総病床数が3,522床(人口1万人当たり91(全国平均142)偏差値41)であったが、2017年に3,539床(人口1万人当たり95(全国平均130)偏差値43)と、17床の増加、率にして1%未満の増加(全国平均9%の減少)が見られた。

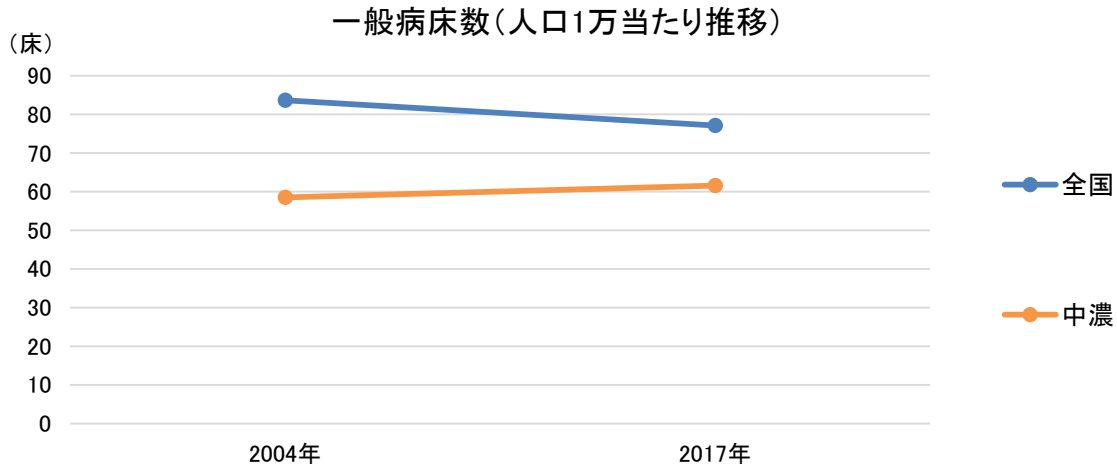
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が486人(人口10万人当たり125人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2016年に578人(人口10万人当たり155人(全国平均240人)偏差値41)と、92人の増加、率にして19%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



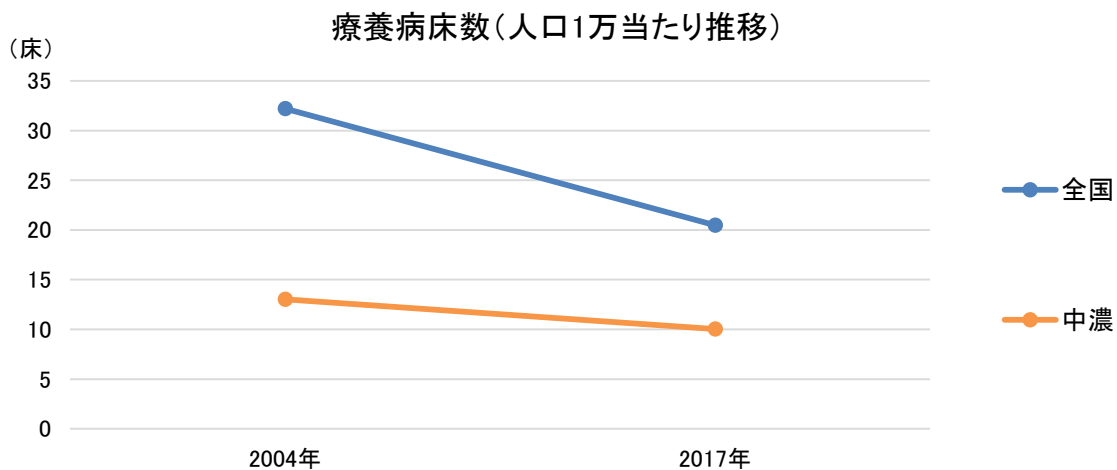
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,277床(人口1万人当たり59(全国平均84)偏差値41)であったが、2017年に2,302床(人口1万人当たり62(全国平均77)偏差値44)と、25床の増加、率にして1%の増加(全国平均8%の減少)が見られた。



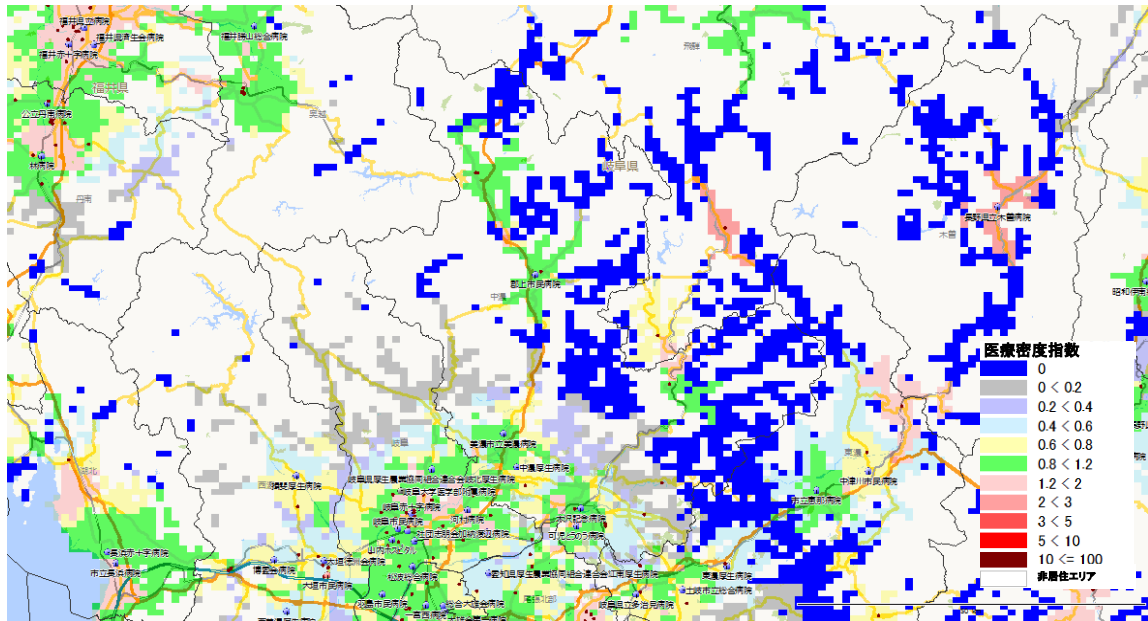
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が530床(75歳以上1,000人当たり13(全国平均32)偏差値39)であったが、2017年に522床(75歳以上1,000人当たり10(全国平均20)偏差値41)と、8床の減少、率にして2%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



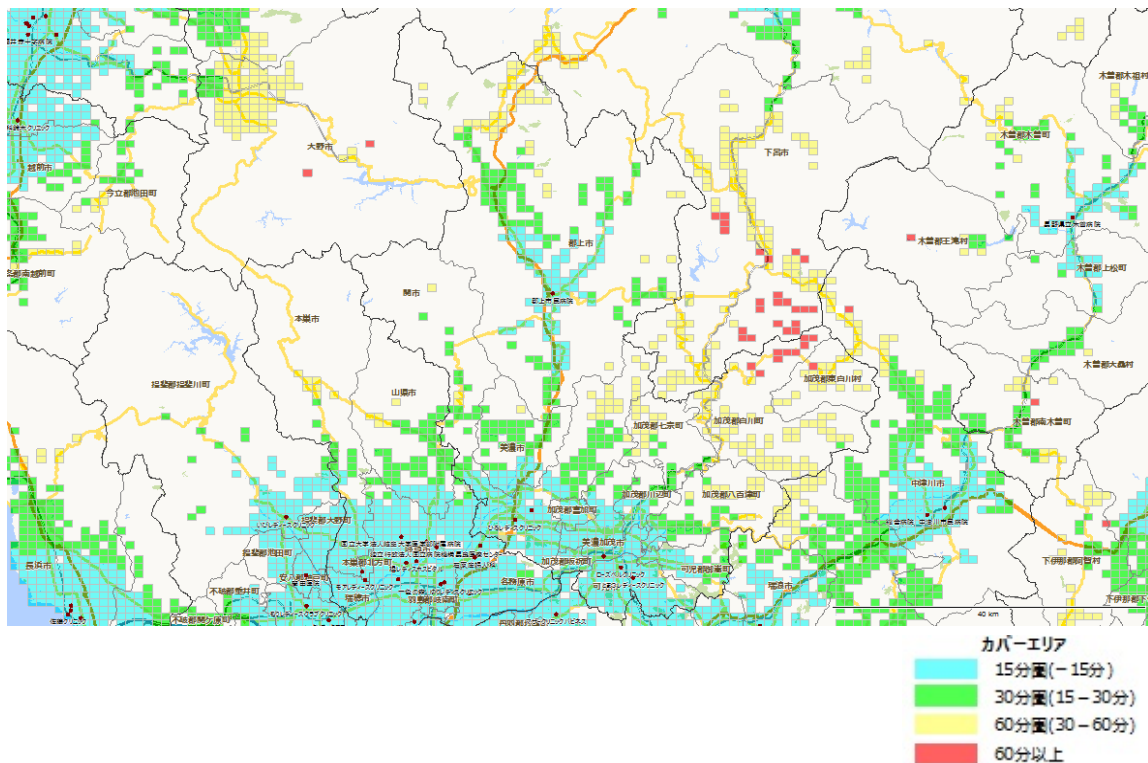
(中濃医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表21-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表21-3-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

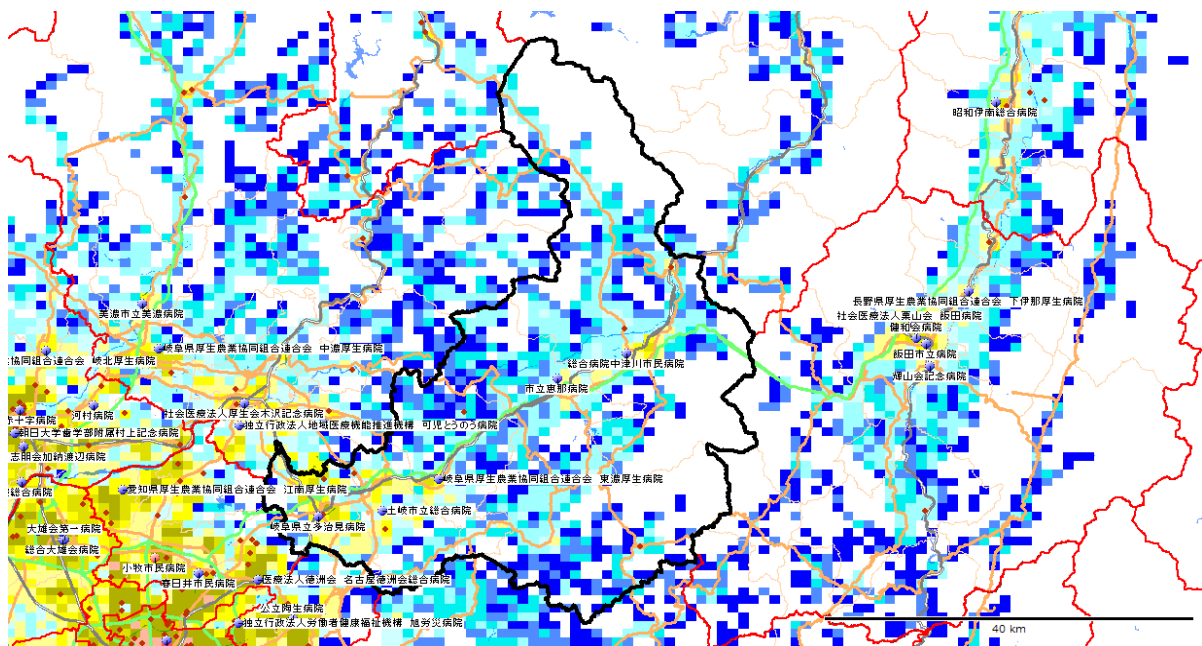


21-4. とうのう 東濃医療圏

構成市区町村 [多治見市](#) [土岐市](#) [中津川市](#) [瑞浪市](#) [恵那市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(東濃医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 東濃(多治見市)は、総人口約337千人(2015年)、面積1,563km²、人口密度は216人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 東濃の総人口は2025年に310千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に262千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の51千人が、2025年にかけて64千人へと増加し(2015年比+25%)、2040年には64千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 東濃の一人当たり医療費(国保)は355千円(偏差値52)、介護給付費は250千円(偏差値49)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 東濃の一人当たり急性期医療密度指数は0.52、一人当たり慢性期医療密度指数は0.66で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療は少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が43(病院医師数42、診療所医師数47)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は46とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は46で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。東濃には、年間全身麻酔件数が1000例以上の岐阜県立多治見病院(Ⅲ群・救命)、500例以上の中津川市民病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は42と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 東濃の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4,600人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,915床(偏差値47)、高齢者住宅等が1,685床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3,802人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム43、軽費ホーム58、グループホーム52、サ高住43である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値50と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、455人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-25%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(東濃医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

東濃医療圏の総人口は、2005年358,884人が、2015年に336,954人と6%減少し、2025年の人口が309,971人と予測され、2005年→2025年の間に14%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に7%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

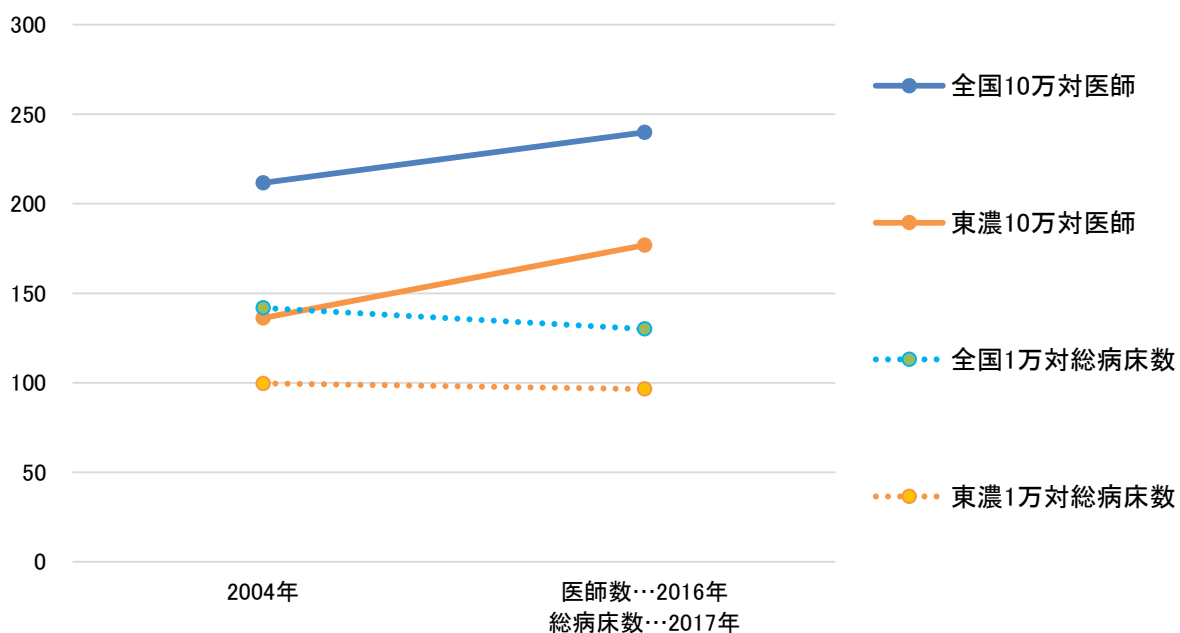
2004年の病院数が15(人口10万人当たり4.2病院(全国平均7.1)偏差値42)であったが、2017年に15(人口10万人当たり4.5病院(全国平均6.6)偏差値45)となり、13年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が227(人口10万人当たり63診療所(全国平均76)偏差値44)であったが、2017年に245(人口10万人当たり73診療所(全国平均80)偏差値46)と、18診療所が増加した。

2004年の総病床数が3,577床(人口1万人当たり100(全国平均142)偏差値42)であったが、2017年に3,252床(人口1万人当たり97(全国平均130)偏差値44)と、325床の減少、率にして9%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

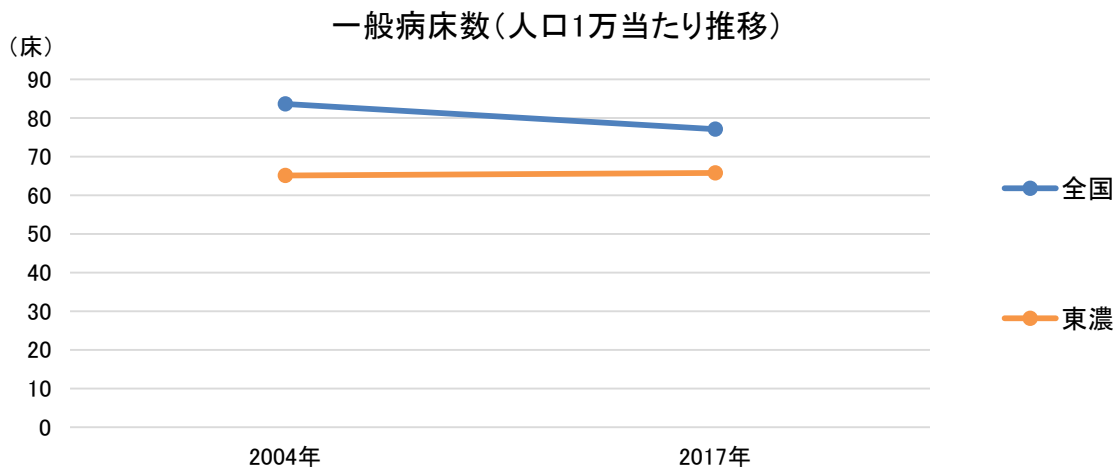
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が489人(人口10万人当たり136人(全国平均212人)偏差値41)であったが、2016年に596人(人口10万人当たり177人(全国平均240人)偏差値43)と、107人の増加、率にして22%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



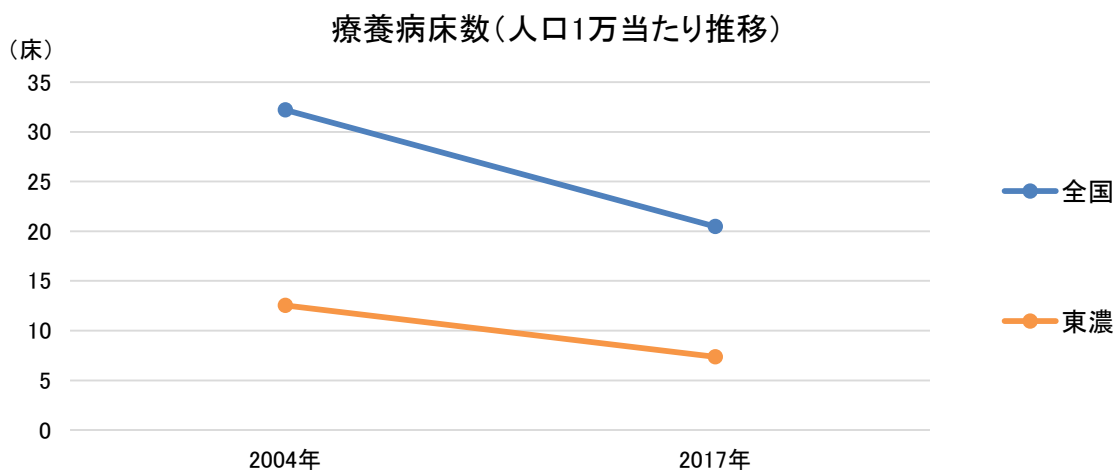
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,337床(人口1万人当たり65(全国平均84)偏差値43)であったが、2017年に2,217床(人口1万人当たり66(全国平均77)偏差値46)と、120床の減少、率にして5%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



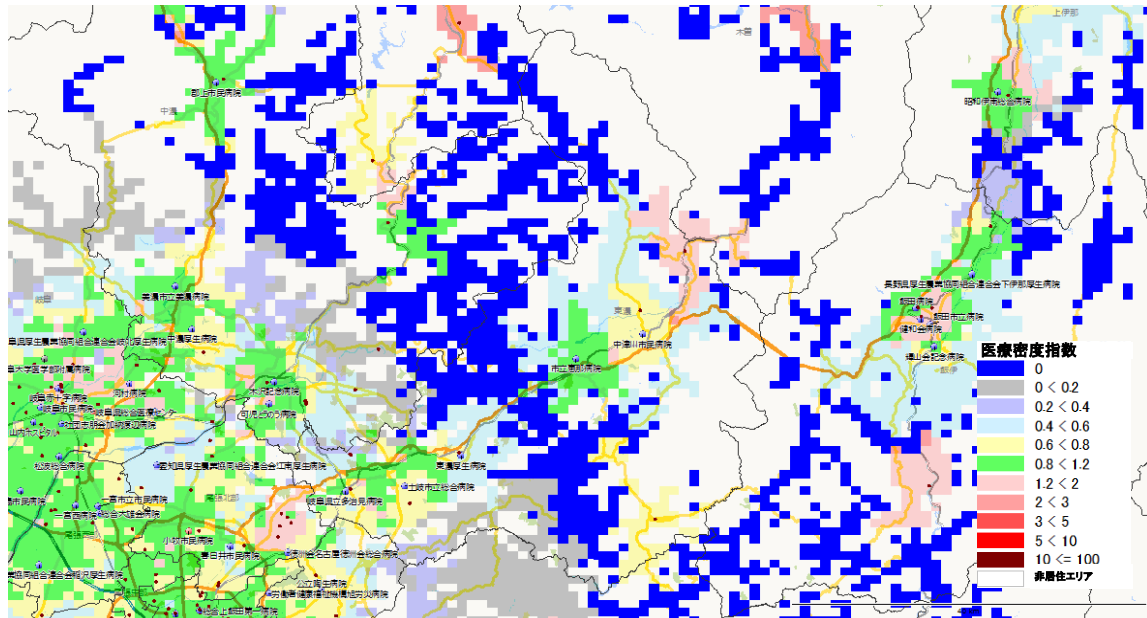
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が482床(75歳以上1,000人当たり13(全国平均32)偏差値39)であったが、2017年に374床(75歳以上1,000人当たり7(全国平均20)偏差値38)と、108床の減少、率にして22%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



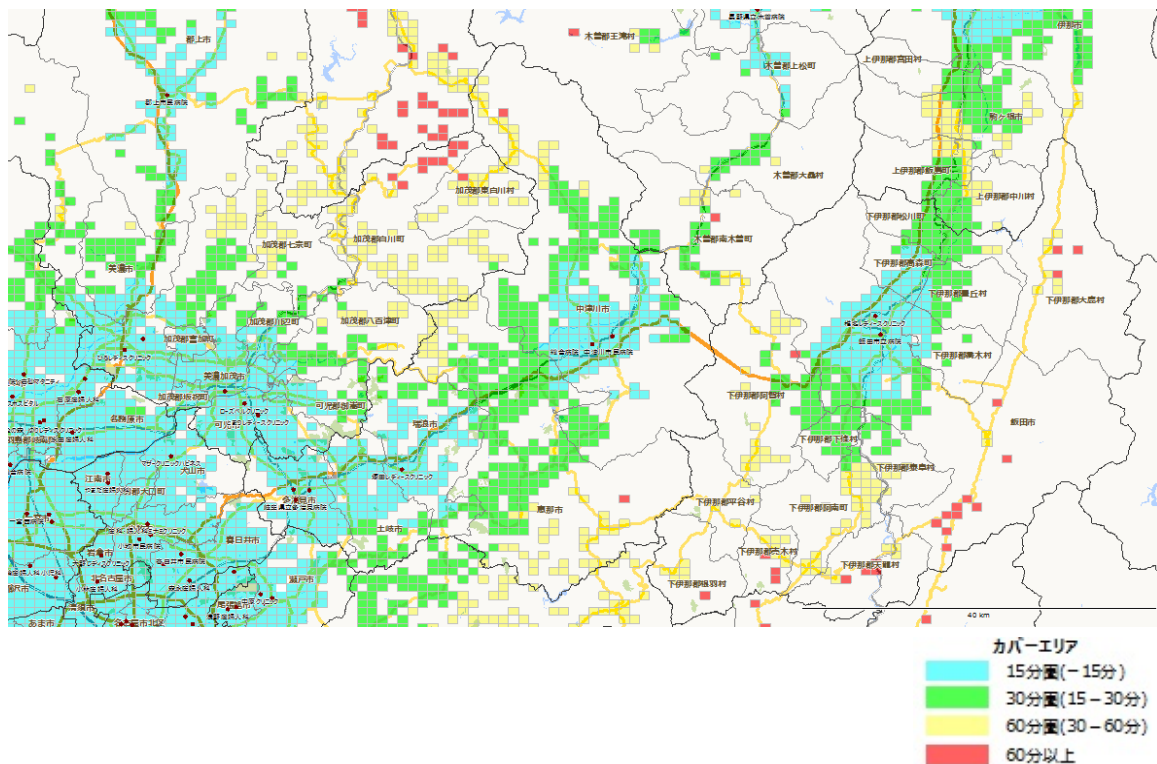
(東濃医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表21-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表21-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

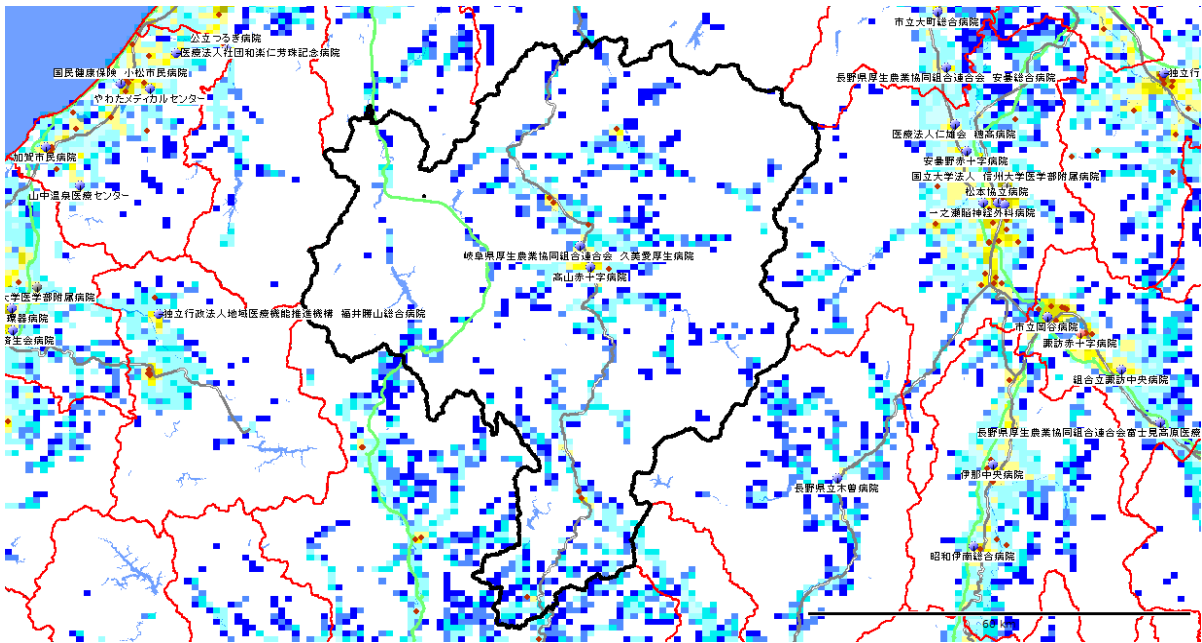


21-5. ^{ひだ}飛騨医療圏

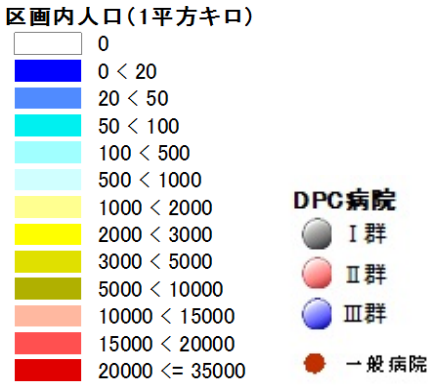
構成市区町村 [高山市](#) [飛騨市](#) [下呂市](#) [白川村](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ



(飛騨医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 飛騨(高山市)は、総人口約149千人(2015年)、面積4,178km²、人口密度は36人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 飛騨の総人口は2025年に132千人へと減少し(2015年比-11%)、2040年に105千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の27千人が、2025年にかけて31千人へと増加し(2015年比+15%)、2040年には28千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 飛騨の一人当たり医療費(国保)は345千円(偏差値50)、介護給付費は263千円(偏差値53)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 飛騨の一人当たり急性期医療密度指数は1、一人当たり慢性期医療密度指数は3.49で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が43(病院医師数43、診療所医師数44)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は52と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。飛騨には、年間全身麻酔件数が500例以上の高山赤十字病院(Ⅲ群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は55で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 飛騨の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,465人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,778床(偏差値54)、高齢者住宅等が687床(偏差値39)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,118人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設56、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設51、有料老人ホーム38、軽費ホーム52、グループホーム42、サ高住50である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値43と少なく、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値38と少ない。介護職員(在宅)の合計は、221人(75歳以上1,000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-23%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(飛騨医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

飛騨医療圏の総人口は、2005年165,610人が、2015年に149,072人と10%減少し、2025年の人口が131,739人と予測され、2005年→2025年の間に20%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に2%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

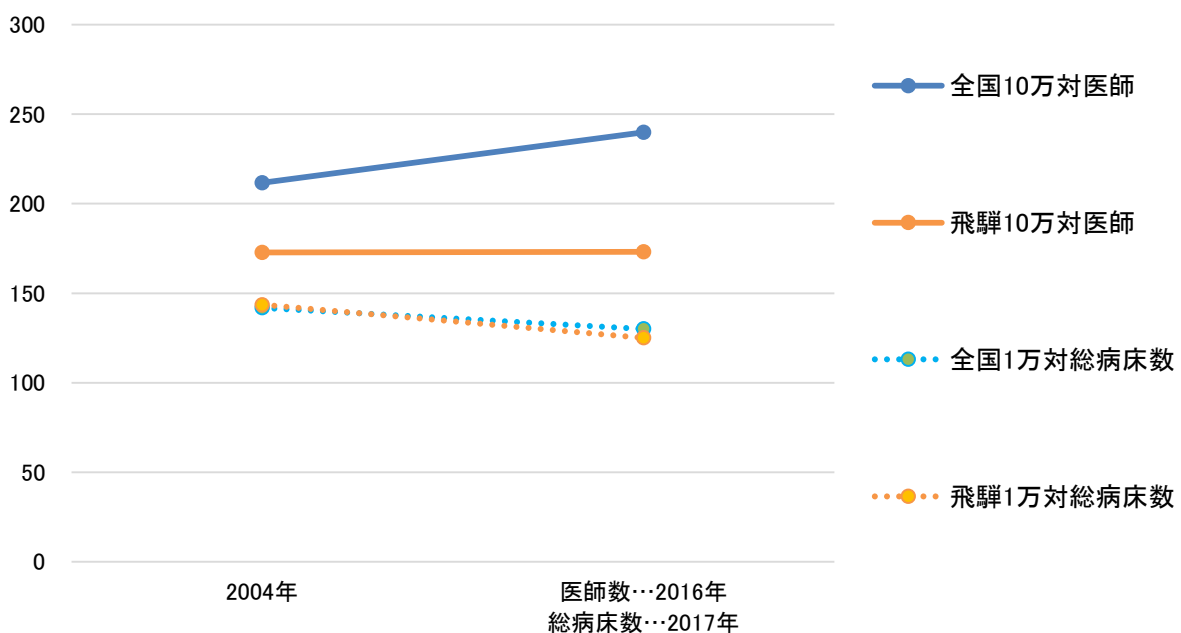
2004年の病院数が12(人口10万人当たり7.2病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2017年に10(人口10万人当たり6.7病院(全国平均6.6)偏差値50)となり、13年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が136(人口10万人当たり82診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2017年に132(人口10万人当たり89診療所(全国平均80)偏差値55)と、4診療所が減少した。

2004年の総病床数が2,378床(人口1万人当たり144(全国平均142)偏差値50)であったが、2017年に1,865床(人口1万人当たり125(全国平均130)偏差値49)と、513床の減少、率にして22%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

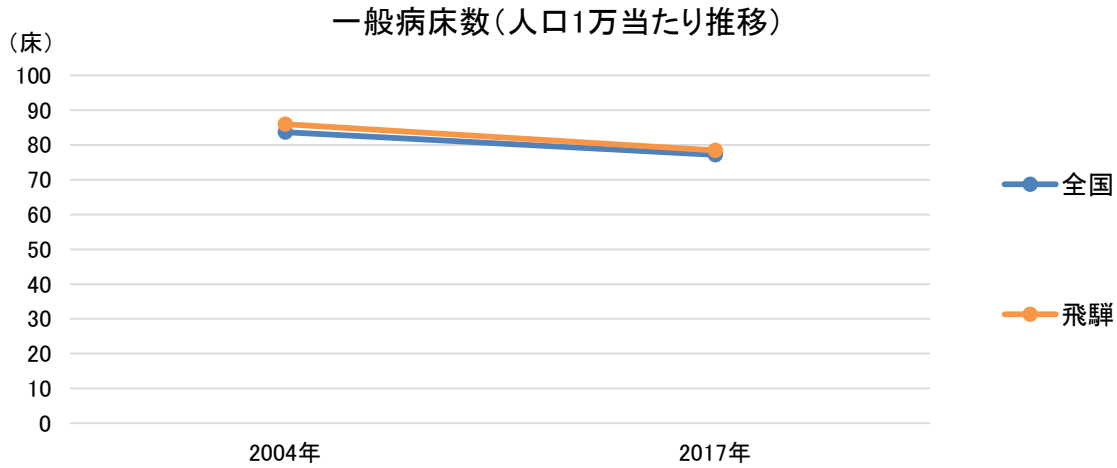
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が286人(人口10万人当たり173人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2016年に258人(人口10万人当たり173人(全国平均240人)偏差値43)と、28人の減少、率にして10%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



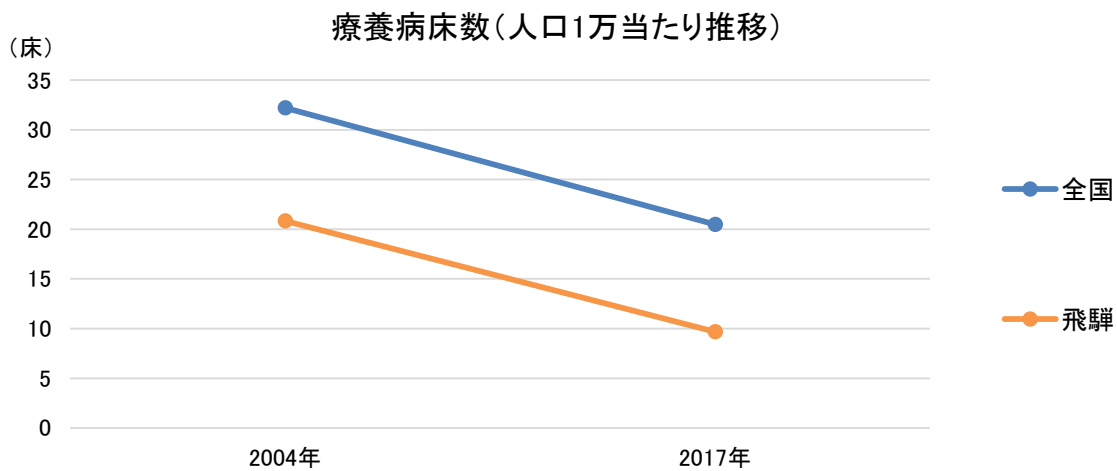
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,424床(人口1万人当たり86(全国平均84)偏差値51)であったが、2017年に1,169床(人口1万人当たり78(全国平均77)偏差値50)と、255床の減少、率にして18%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



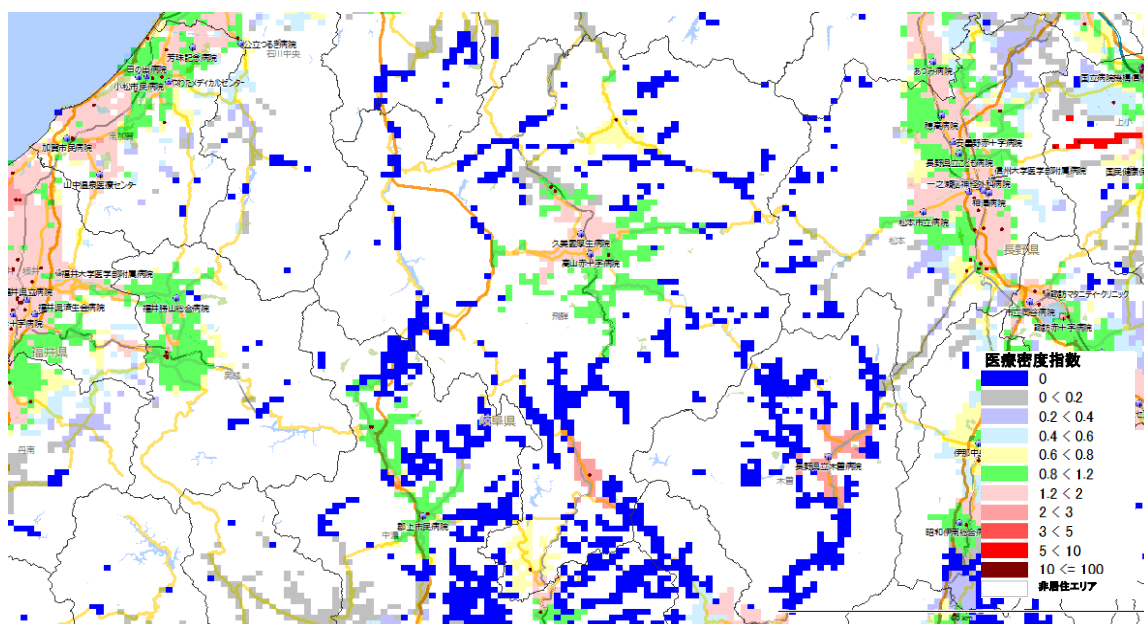
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が442床(75歳以上1,000人当たり21(全国平均32)偏差値44)であったが、2017年に259床(75歳以上1,000人当たり10(全国平均20)偏差値40)と、183床の減少、率にして41%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



(飛騨医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表21-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表21-5-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1kmメッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1kmメッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

